

S802

KSNS802-A1808

セイコーウォッチ株式会社

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

S802 ソーラーデジタルウォッチ

T-4

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

- ※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いただけない場合があります。
- ※ 商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

目次

1. この製品について	
製品取扱上のご注意	4
特長	8
ボタンの名称と表示の切替	9
この製品でできること	10
各種マークの説明	12
2. ご使用前に	
充電について	13
(1) 充電のしかた	13
(2) 充電にかかる時間のめやす	14
(3) 表示と電池残量について	15
■電池残量について	15
■パワーセーブ・スリープ機能について	17
回転ベゼルの使いかた	19
3. 時刻・カレンダーモード	
時計・カレンダーモードの使いかた	21
(1) ボタンの名称とはたらき	21
(2) ホームタイム都市の時刻・カレンダー・都市名・サマータイムの合わせかた	22
(3) コントラスト調整のしかた	24
(4) パワーセーブ設定のしかた	25
(5) タップ入力之感度調整のしかた	26
(6) デュアルタイム表示の使いかた	27
1) ホームタイムとワールドタイムの表示位置の切替	27
2) ワールドタイム都市の選択	28
3) ワールドタイム都市のサマータイム設定	28
(7) ワールドタイム都市と時差一覧表	29
(8) アラーム音の試し聞き、時報／操作確認音のセットと解除のしかた	30
4. ストップウォッチモード	
ストップウォッチモードの使いかた	31
(1) ボタンの名称とはたらき	31
(2) ラップタイム表示とスプリットタイム表示の切替	33
(3) ストップウォッチの使いかた	33
1) 積算タイムの計りかた	33
2) ラップ/スプリットタイムの計りかた	34
5. リコールモード	
リコールモードの使いかた	35
(1) ボタンの名称とはたらき	35

(2) 計測データの確認のしかた	36
(3) 計測データの消去	37
6. タイマーモード	
タイマーモードの使いかた	39
(1) ボタンの名称とはたらき	39
(2) タイマーの設定のしかた	40
(3) タイマー計測のしかた	41
7. アラームモード	
アラームモードの使いかた	42
(1) ボタンの名称とはたらき	42
(2) アラームの使いかた	43
(3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合	44
(4) 鳴っているアラームを止めるには	44
8. ソーラーモニターモード	
ソーラーモニターモードの使いかた	45
(1) ボタンの名称とはたらき	45
(2) 表示の説明	46
(3) 発電レベルの再表示のしかた	46
(4) 充電の目安について	46
9. ご注意いただきたいこと	
お手入れについて	47
防水性能について	48
性能と型式について	50

バンドについて	51
使用電源について	53
アフターサービスについて	55
10. 困ったときは	
こんなときは	58
システムリセットのしかた	60
11. 製品仕様	
製品仕様	61

製品取扱上のご注意



警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

- ・ 次のような場合、ご使用を中止してください
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出てきた場合
 - ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・ 乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
 - 部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
 - 万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・ 時計から二次電池を取り出さないでください
 - ※ 二次電池について → 使用電源について P.53
 - 二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
 - 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂・発熱・発火などのおそれがあります。



注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

- ・ 以下の場所での携帯・保管は避けてください
 - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
 - 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
 - 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - ホコリの多いところ
 - 強い振動のあるところ
- ・ アレルギーやかぶれを起こした場合
 - ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・ その他のご注意
 - 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
 - 手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
 - けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 揚げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
 - 衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウォッチをご使用ください。

注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

特長

■時刻・カレンダー機能

2018年～2067年のフルオートカレンダーです。サマータイム (DST) の設定が可能です。

■デュアルタイム表示機能

ホームタイムとワールドタイム (世界44都市 [GMTを含む] から選択した都市の現在時刻) を同じ画面に表示します。ワールドタイムも各都市ごとに、サマータイムの設定が可能です。

■ストップウォッチ機能・リコール機能

最大9時間59分59秒9まで計測可能で、ラップ・スプリットタイムを最大100本記憶します。計測後にメモリーしたデータを呼び出し、確認することができます。

■ソーラー充電機能

文字板上のソーラーパネルで光を電気エネルギーに換え、充電します。フル充電後、光が当たらない状態でも、約5か月間の動作が可能です。

■パワーセーブ・スリープ機能

光が当たらず、ボタン操作がない状態が一定時間以上続くと、無駄なエネルギー消費を抑えるために節電機能がはたらきます。

■ソーラーモニター機能

現在のソーラー発電レベルと電池残量を11段階で表示します。充電の目安となります。

■タップ入力によるバックライト点灯

時計を腕に装着し、フェース面を軽く1回叩くと、バックライトが2秒間点灯します。

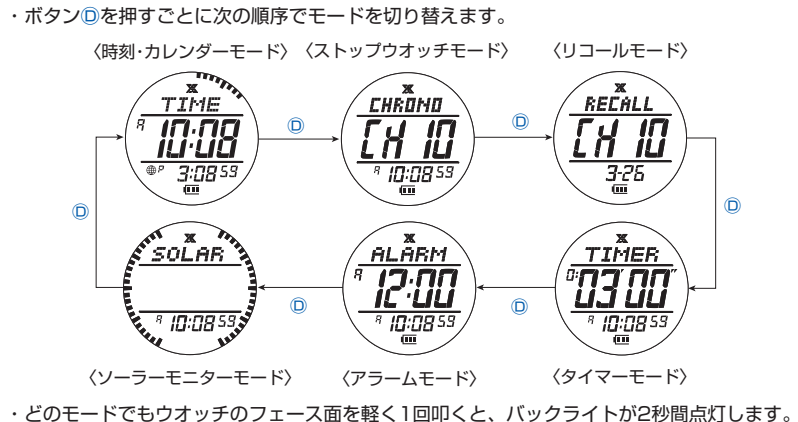
ボタンの名称と表示の切替

- ・ボタンの名称は、左下から時計回りにボタンA～ボタンDと割り振られています。
- ・ボタンDでモードを切り替えます。
- ・各ボタンの近くにはそのボタンの主な機能を表記しています。
- ・外周のグラフィックは、時刻・カレンダーモードでは「分」を表し、ソーラーモニターモードでは現在のソーラー発電レベルと電池残量を表します。









※各表記やデザインはモデルによって異なる場合があります。

この製品でできること



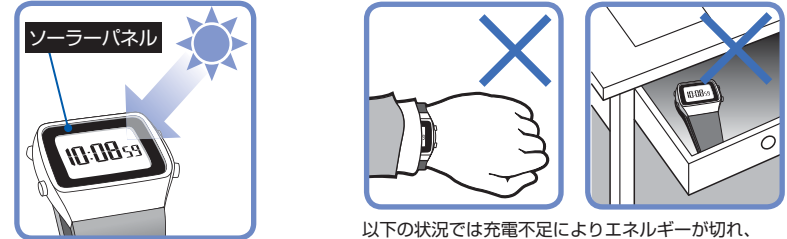
	上段初期表示	機能	参照ページ
時刻・カレンダーモード	TIME	・時刻・日付・曜日の設定と表示、カレンダー設定範囲：2018年～2067年 ・ホーム都市選択、サマータイム（DST）設定、コントラスト調整、パワーセーブの設定、タップ入力の感度調整 ・ワールドタイムの表示、各都市のサマータイム設定 ・時報／操作確認音の設定、アラーム音の試し聞き	P. 21
ストップウォッチモード	CHRONO	・ストップウォッチ計測（1/10秒単位） ・最大計測時間：9時間59分59秒9 ・チャンネルごとのラップ・スプリットタイムの計測と保存（最大100ラップ）	P. 31
リコールモード	RECALL	・ストップウォッチモードで計測・保存したデータの呼び出しと削除	P. 35
タイマーモード	TIMER	・10秒から9時間59分59秒まで設定可能なカウントダウンタイマー ・繰り返し回数を1～99回まで設定可能	P. 39
アラームモード	ALARM	・3チャンネルのデイリーアラーム ・チャンネルごとにON/OFFが設定可能	P. 42
ソーラーモニターモード	SOLAR	・現在のソーラー発電レベルと電池残量を11段階で表示	P. 45

各種マークの説明

-  **電池残量表示**：現在の電池残量の目安をグラフィックで表します。
- PS** パワーセーブマーク：パワーセーブ状態であることを表します。
- SL** スリープマーク：スリープ状態であることを表します。
-  **ストップウォッチマーク**：ストップウォッチ計測中に点滅し、ストップ時に点灯します。
-  **タイマーマーク**：タイマー計測中に点滅し、ストップ時に点灯します。
-  **ワールドタイムマーク**：表示時刻がワールドタイムであることを示します。
- DST** サマータイムマーク：時刻モードでサマータイム設定がONの時、点灯します。
-  **アラームマーク**：アラームの設定がONの時、点灯します。
-  **時報マーク**：時報／操作確認音の設定がONの時、点灯します。
時報／操作確認音がONの時は毎正時に報時します。

充電について

(1) 充電のしかた
ソーラーパネルに光を当てて充電してください。



以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。

- ・時計が衣類のそでの中に隠れている
- ・光の当たりにくい環境での使用や保管が続く

※充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください(作動温度範囲は-10℃～+60℃です)。
※使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、次ページの「充電にかかる時間のめやす」を参考に十分な充電をしてください。

(2) 充電にかかる時間のめやす

下記の時間を参考に、充電を行ってください。

電池残量表示	全消灯						一日分の充電時間
環境1 晴れた日の屋外 発電レベル 10		約1時間	約2時間	約2時間	約1時間		約2分
環境2 晴れた日の窓際 発電レベル 6		約10時間	約16時間	約24時間	約11時間		約22分
環境3 くもりの日の窓際 発電レベル 4		約20時間	約33時間	約48時間	約22時間		約44分
環境4 蛍光灯下の屋内 発電レベル 2		約200時間					約8時間

※「発電レベル」は、表中の各環境において、本製品の「ソーラーモニターモード」が11段階(レベル0~10)で表示する発電レベルのめやすです。(詳細は、P.45「ソーラーモニターモードの使いかた」をご参照ください。)

この時計は一度フル充電すると、以下の状況で使用した場合、その後光が当たらない状態でも約5ヶ月間、動き続けます。

- ・アラーム音……………10秒間/日
- ・バックライト点灯……………1回(2秒間)/日
- ・パワーセーブ……………6時間/日

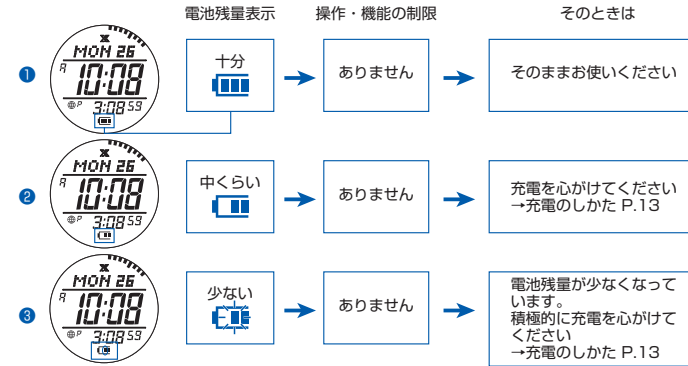
※バックライト(内部照明)をたくさん使うと、電池が早く減りますのでご注意ください。

14

(3) 表示と電池残量について

■電池残量について

液晶パネルの表示でおおまかな電池残量が分かります。

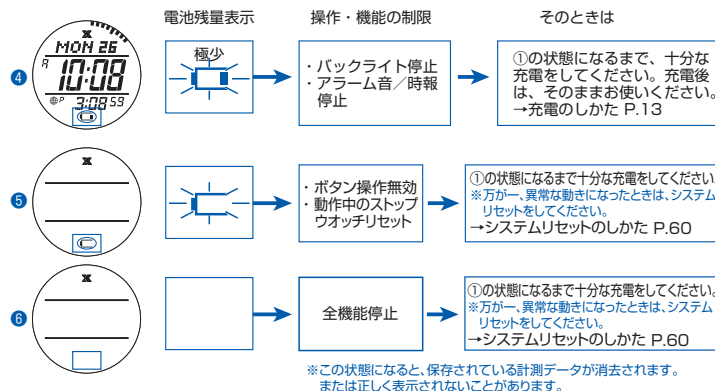


2

ご使用の前に

2

ご使用の前に

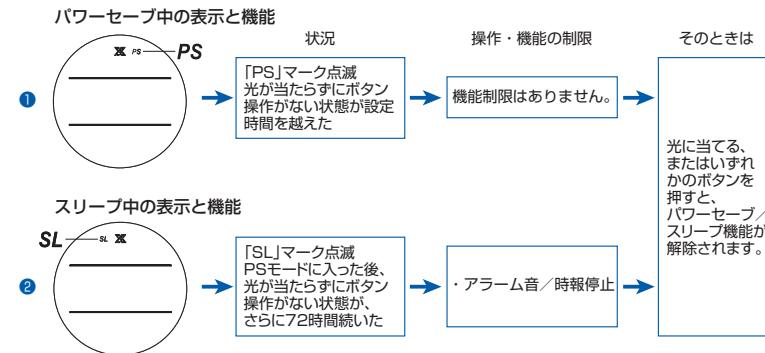


16

■パワーセーブ・スリープ機能について

パワーセーブ機能：光が当たらず、ボタン操作がない状態が設定した時間以上経過するとパワーセーブ機能(節電機能)がはたらきます。

スリープ機能：パワーセーブ状態に入ってから約72時間が経過すると、自動的にスリープ機能がはたらきます。



2

ご使用の前に

17

- ・パワーセーブ設定のしかた
「時刻・カレンダーの合わせかた」でOFFまたはONの時間設定を行います。
時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選ぶことができます。
初期設定は30分です。
P.25の「パワーセーブ設定のしかた」を参照してください。

※次の状態ではパワーセーブ及びスリープ状態には入りません。

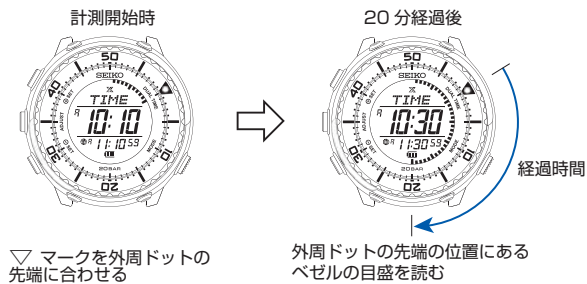
- ・電池残量が十分 () の時
- ・ストップウォッチまたはタイマー動作中

- ②経過時間の計測を開始するときに、回転ベゼルの回し、「▽」マークを外周ドットの先端 (現在の「分」の位置) に合わせます。

※回転ベゼルは、時計回り、反時計回りのどちらの方向にも回すことができます。

- ③時間が経過したのち、外周ドットの先端の位置にある回転ベゼルの目盛を読むことにより、経過時間がわかります。

例) 10時10分に計測を開始した場合



回転ベゼルの使いかた (回転ベゼル付きモデルの場合)

- 回転ベゼル付きモデルの場合、時刻・カレンダーモードで回転ベゼルの回し、経過時間を測定することができます。

※回転ベゼルにより測定する時間は、経過時間の目安としてご使用ください。



- ①ボタンDを押して、時刻・カレンダーモードに切り替えてください。

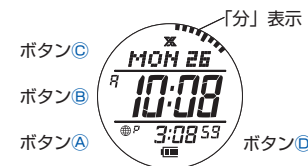
※時刻・カレンダーモードでは、外周のドットが「分」の経過をグラフィック表示します。

時刻・カレンダーモードの使いかた

(1) ボタンの名称とはたらき

・ボタンDを押して時刻・カレンダーモードに切り替えてください。上段に「TIME」と表示した後、上・中段と下段にそれぞれホームタイムまたはワールドタイムを表示します。

※時刻・カレンダーモードは、ホームタイムとワールドタイムのデュアルタイム表示となっており、それぞれの表示位置を切り替えることができます。ワールドタイム表示位置には、ワールドタイムマーク「」が点灯します。P.27「(6) デュアルタイム表示の使いかた」を参照してください。

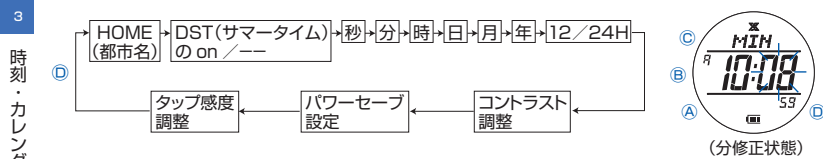


※外周のドットは、ホームタイムの「分」の経過を表します。

- ボタンA : ・修正箇所の合わせ (戻り)
- ・ワールドタイム都市の選択 (戻り)
- ボタンA (長押し) : ワールドタイムのDST (サマータイム) の設定 / 解除
- ボタンB : ホームタイムとワールドタイムの表示位置切替
- ボタンB (長押し) : 時刻・カレンダー合わせ状態の呼び出し
- ボタンC : ・修正箇所の合わせ (進み)
- ・ワールドタイム都市の選択 (進み)
- ボタンC (長押し) : 報時・操作確認音の設定 / 解除
- ボタンD : ・ストップウォッチモードへの切替
- ・修正箇所の選択

(2) ホームタイム都市の時刻・カレンダー・都市名・サマータイムの合わせかた

- ① ボタン B を長押しすると「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。現在設定されているホームタイム都市名を表示します。
- ② ボタン D を1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅)を選ぶことができます。



- ※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。
- ※都市名をGMTにすると「DST」の「onまたは—」は表示しません。
- ※「DST」を「on」に設定するとサマータイムマーク「DST」が点灯し、時刻が1時間進みます。

・サマータイム：DST(Daylight Saving Time)
夏の日照時間の長いときに、昼間の時間を有効に利用するため、時刻を1時間進める制度です。欧米を中心に世界の約80ヶ国で実施されています。サマータイムの実施時期や実施地域は国によって様々です。

- ※各地域の時差、およびサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。
- ※ごく一部の地域では15分、30分単位で時差が設定されている場合があります。

22

- ③ ボタン D を押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタン A またはボタン C を押すと「00」に合います。

- ※秒表示が30～59秒の時、ボタン A またはボタン C を押すと1分繰り上がって「00」に合います。
- ※時刻合わせは、電話の時報サービス (TEL.117) が便利です。

- ④ ボタン D を押して合わせたいところを選択した後、ボタン C を1回押すごとに点滅している数字・都市名が1つずつ進みます。反対にボタン A を押すごとに1つずつ戻ります。「秒」を除く。

- ※ボタン A またはボタン C を長押しすると早送りができます。

- ⑤ 「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタン B を押してください。修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」へ戻ります。忘れた場合でも2～3分で「時刻・カレンダー表示」に自動的に戻ります。

- ※カレンダーはフルオートカレンダー機能を搭載しています。2018年から2067年までの年・月・日・曜日がプログラムされていますので、この間は月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
- ※ホームタイム都市にサマータイム (DST) をセットすると、「デュアルタイム表示」で同じ都市をワールドタイム都市として選択した場合、サマータイムの表示になります。
- ※時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。その場合はいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。次に改めて、(2)の①から合わせなおしてください。

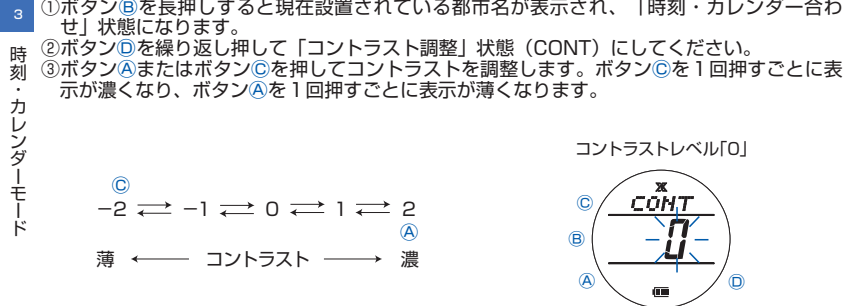
時刻・カレンダーモード

23

(3) コントラスト調整のしかた

表示のコントラスト (濃薄) の調整ができます。出荷時及びシステムリセットの後の設定は「0」となります。

- ・ボタン D を押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
- ① ボタン B を長押しすると現在設置されている都市名が表示され、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 - ② ボタン D を繰り返し押して「コントラスト調整」状態 (CONT) にしてください。
 - ③ ボタン A またはボタン C を押してコントラストを調整します。ボタン C を1回押すごとに表示が濃くなり、ボタン A を1回押すごとに表示が薄くなります。



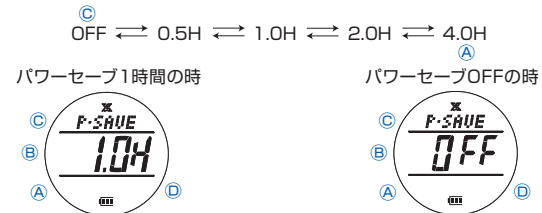
- ④ 調整が終わりましたら、ボタン B を押して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」状態へ自動的に戻ります。

24

(4) パワーセーブ設定のしかた

パワーセーブ機能が作動するまでの時間を設定できます。出荷時は30分(0.5H)に設定されています。

- ・ボタン D を押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
- ① ボタン B を長押しすると現在設定されている都市名が表示され、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 - ② ボタン D を繰り返し押して「パワーセーブ設定」状態 (P-SAVE) にしてください。
 - ③ ボタン A またはボタン C を押して時間を選択するか、「OFF」に設定します。



- ※パワーセーブは光が当たらない状態で一定時間ボタン操作が無い時、表示を消して消費電力を低減する機能です。光を当てるか、いずれかのボタンを押すことで元の表示状態に戻ります。

- ④ 調整が終わりましたら、ボタン B を押して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」状態に自動的に戻ります。

時刻・カレンダーモード

25

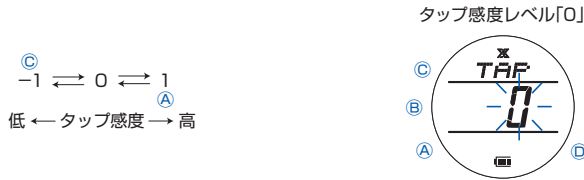
(5) タップ入力の感度調整のしかた

時計を腕に装着し、フェイス面を軽く1回叩くと、バックライトが2秒間点灯します。その際のタップ入力の感度を調整することができます。出荷時は「0」に設定されています。

- ・ボタンCを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
- ① ボタンBを長押しすると現在設置されている都市名が表示され、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
- ② ボタンCを繰り返し押して「タップ感度調整」状態（TAP）にしてください。
- ③ ボタンAまたはボタンCを押してタップ入力の感度を調整します。ボタンCを押すとタップ感度が高くなり、ボタンAを押すとタップ感度が低くなります。
※タップしてもライトが点灯しづらい場合は、タップ感度「1」を選択してください。

3

時刻・カレンダーモード



- ④ 調整が終わりましたら、ボタンBを押して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。押し忘れた場合でも2~3分後には「時刻・カレンダー表示」状態へ自動的に戻ります。

26

(6) デュアルタイム表示の使いかた

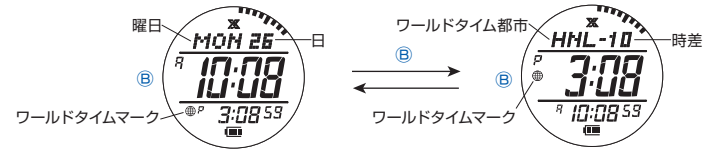
「時刻・カレンダー表示」は、ホームタイムとワールドタイムの両方を同じ画面で表示するデュアルタイム表示となっています。ワールドタイムは、世界44都市の時刻を表示し、都市ごとにサマータイム（DST）の設定ができます。

※ワールドタイム都市にGMTを選択した場合、サマータイムの設定はできません。

1) ホームタイムとワールドタイムの表示位置の切替

ボタンBを押すごとに、ホームタイムとワールドタイムの表示位置が、中段と下段で切り替わります。

※ワールドタイム表示位置には、ワールドタイムマーク「地球」が点灯します。



[中段:ホームタイム、下段:ワールドタイム] [中段:ワールドタイム、下段:ホームタイム]

3

時刻・カレンダーモード

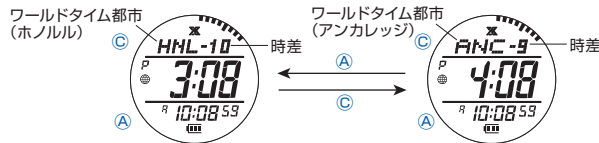
27

2) ワールドタイム都市の選択

ワールドタイムを中段に表示した状態で、ボタンAまたはボタンCを押して都市を選択します。ボタンCを1回押すごとに都市名が1つずつ進み、ボタンAを押すごとに1つずつ戻ります。

3

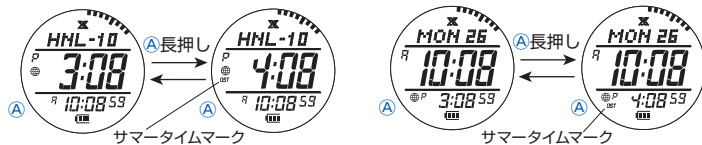
時刻・カレンダーモード



3) ワールドタイム都市のサマータイム設定

ワールドタイムが中段、下段のどちらに表示されている状態でも、ボタンAを長押しすることで、サマータイムの設定と解除ができます。

※サマータイムを設定すると、ワールドタイムマーク「地球」の下にサマータイムマーク「DST」が点灯し、時刻が1時間進みます。



28

(7) ワールドタイム都市と時差一覧表

(GMTは、グリニッジ標準時を示しています。+はGMTより進み、-は遅れを表します。)

No.	表記	都市名	GMTとの時差 [h]	No.	表記	都市名	GMTとの時差 [h]
1	GMT	グリニッジ標準時	00:00	23	BJJ	北京	+ 08:00
2	LIS	リスボン	00:00	24	SEL	ソウル	+ 09:00
3	LON	ロンドン	00:00	25	TYO	東京	+ 09:00
4	PAR	パリ	+ 01:00	26	ADL	アデレード	+ 09:30
5	ROM	ローマ	+ 01:00	27	GUM	グアム	+ 10:00
6	BER	ベルリン	+ 01:00	28	SYD	シドニー	+ 10:00
7	ATH	アテネ	+ 02:00	29	OOL	ゴールドコースト	+ 10:00
8	CAI	カイロ	+ 02:00	30	NOU	ヌーメア (ニューカレドニア)	+ 11:00
9	MOW	モスクワ	+ 03:00	31	WLG	ウェリントン	+ 12:00
10	JED	ジッダ	+ 03:00	32	HNL	ホノルル	- 10:00
11	BGW	バグダット	+ 03:00	33	ANC	アンカラ	- 09:00
12	THR	テヘラン	+ 03:30	34	YVR	バンクーバー	- 08:00
13	DXB	ドバイ	+ 04:00	35	LAX	ロサンゼルス	- 08:00
14	KBL	カブール	+ 04:30	36	DEN	デンバー	- 07:00
15	KHI	カラチ	+ 05:00	37	CHI	シカゴ	- 06:00
16	DEL	デリー	+ 05:30	38	NYC	ニューヨーク	- 05:00
17	DAC	ダッカ	+ 06:00	39	YMQ	モントリオール	- 05:00
18	RGN	ヤンゴン	+ 06:30	40	BOS	ボストン	- 05:00
19	BKK	バンコク	+ 07:00	41	SDQ	サンクトミンゴ	- 04:00
20	JKT	ジャカルタ	+ 07:00	42	BUE	ブエノスアイレス	- 03:00
21	SIN	シンガポール	+ 08:00	43	RIO	リオデジャネイロ	- 03:00
22	HKG	香港	+ 08:00	44	PDL	アゾレス諸島	- 01:00

(2017年12月現在)

3

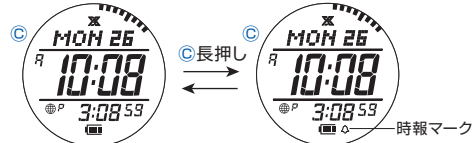
時刻・カレンダーモード

29

(8) アラーム音の試し聞き、時報／操作確認音の設定と解除のしかた

- 「時刻・カレンダー表示」でボタンCを長押しすることにより、時報／操作確認音の設定と解除ができます。設定されているときは、時報マーク「A」が点灯します。

3
時刻・カレンダーモード



【時報／操作確認音がOFF】 【時報／操作確認音がON】

- 「時刻・カレンダー表示」でボタンAとボタンCを同時に押し続けると、アラーム音の試し聞きができます。



ストップウォッチモードの使いかた

- ・1/10秒単位で、最大9時間59分59秒9まで計測します。
- ・ラップタイムとスプリットタイムを計測します。
- ・最大100ラップのデータを計測・記録します。
- ・合計100ラップの範囲内であれば、計測データは、スタートからリセットまでを1計測として、チャンネルごとに分割してメモリーすることができます。
- ・計測・記録したデータは、リコールモードで呼び出し、確認することができます。

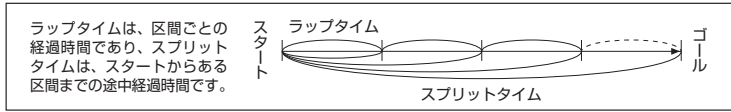
(1) ボタンの名称とはたらき

- ・ボタンDを押してストップウォッチモードに切り替えてください。上段に「CHRONO」、中段に「CH5」のようにこれから使用するメモリーチャンネルを表示した後、ラップタイムまたはスプリットタイム計測表示となります。下段には現在時刻を表示します。



- ボタンA：ラップ・スプリット／リセット
- ボタンB：ラップタイム表示とスプリットタイム表示の切替
- ボタンC：スタート／ストップ
- ボタンD：リコールモードへの切替

4
ストップウォッチモード



●メモリーの考えかた

4
ストップウォッチモード

	計測の使いかた	メモリーの使用量
1	スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
2	スタート→ストップ／再スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
3	スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
4	スタート→ストップ／再スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
5	スタート→ラップ→ラップ→ストップ→リセット	5～6メモリー

- ※ベストラップタイム、平均ラップタイムを記憶するため、1つでもデータを取ると、最低3つのメモリーを使います。そのため、1チャンネル（「CH1」）のみ使用した場合は100メモリーを使用できますが、チャンネルを複数使用した場合、使用できるメモリーの合計は100に達しません。たとえば、2チャンネルを使用した場合、使用できるメモリー数は合計97となります。
- ※1チャンネル（「CH1」）のみ使用の場合、100ラップまでメモリーします。100ラップ以降も計測はしますが、メモリーされません。
- ※複数チャンネルを使用した場合は、メモリーが限界に達すると、一番古いチャンネルのデータからチャンネル単位で消去し、新しいデータを登録します。
- ※不要なデータを選択して消去する方法については、P.37「(3)計測データの消去」を参照してください。

(2) ラップタイム表示とスプリットタイム表示の切替

- ・ボタンBを押すごとに、ラップタイム表示とスプリット表示が切り替わります。
- ※ストップウォッチ計測中も表示の切替が可能です。ただし、ラップタイム計測後、「LAP No.」が点滅し、計測したラップタイムが表示され続けている間は、表示の切替はできません。



【スプリットタイム表示】 【ラップタイム表示】

4

(3) ストップウォッチの使いかた

- 1) 積算タイムの計りかた (例：スプリットタイム表示の場合)
 - ①リセット状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をスタートします。
 - ②計測状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をストップします。
 - ③停止状態でボタンAを押し、ストップウォッチをリセットします。



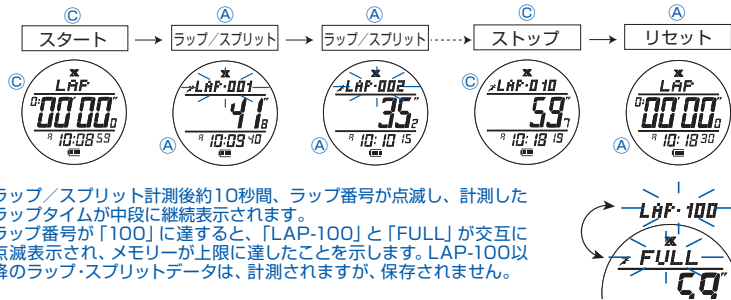
4
ストップウォッチモード

- ※途中ボタンCを押して、ストップ・再スタートを繰り返すことができます。
- ※計測中に表示（モード）を切り替えても、ストップウォッチの計測は継続されます。
- ※計測時間が9時間59分59秒9に達すると、ストップウォッチは自動的にストップ・リセットされます。

2) ラップ/スプリットタイムの計りかた (例: ラップタイム表示の場合)

- リセット状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をスタートします。
- ボタンAを押すごとに、ラップ/スプリットタイムが計測されます。
- 計測状態でボタンCを押し、ストップウォッチの計測をストップします。
- 停止状態でボタンAを押し、ストップウォッチをリセットします。

ストップウォッチモード

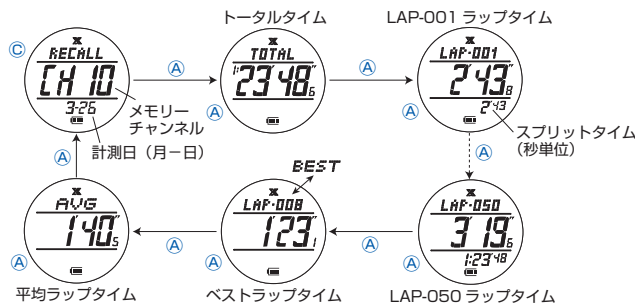


- ※ラップ/スプリット計測後約10秒間、ラップ番号が点滅し、計測したラップタイムが中段に継続表示されます。
- ※ラップ番号が「100」に達すると、「LAP-100」と「FULL」が交互に点滅表示され、メモリーが上限に達したことを示します。LAP-100以降のラップ・スプリットデータは、計測されますが、保存されません。

34

(2) 計測データの確認のしかた

- ボタンCを押して、確認したいメモリーチャンネルを選択します。
- ボタンAを押すごとに、データ（トータルタイム、ラップ/スプリットタイム、ベストラップタイム、平均ラップタイム）が、以下の順序で表示されます。



- ※ラップタイムまたはスプリットタイム表示中にボタンAを押し続けると、ラップ/スプリット番号が早送りします。
- ※ベストラップタイム表示中、上段に「BEST」と計測したラップ番号が交互に表示されます。
- ※どのデータの表示中でも、ボタンCを押すと、ひとつ前のメモリーチャンネルに移行します。

36

リコールモードの使いかた

- ストップウォッチモードで計測したデータ呼び出して、確認することができます。
- メモリーチャンネルごとにデータを表示します。
- トータルタイム、ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示します。
- 各チャンネルの計測開始時の日付（月一日）を表示します。

(1) ボタンの名称とはたらき

- ボタンDを押してリコールモードに切り替えてください。上段には「RECALL」を、中段には「CH10」のように最後に計測したメモリーチャンネルを、下段にはそのチャンネルの計測開始日を表示します。

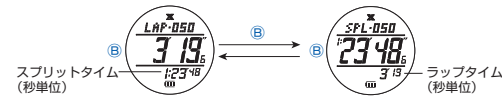


- ボタンA: 計測データの表示
- ボタンB: ラップタイム表示とスプリットタイム表示の切替
- ボタンB (長押し): データの消去
- ボタンC: メモリーチャンネルの選択 (戻り)
- ボタンD: タイマーモードへの切替

リコールモード

35

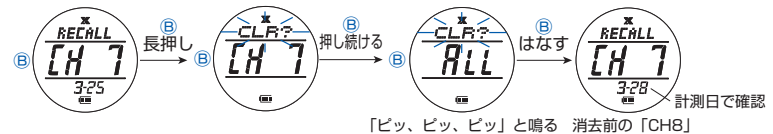
- ※ラップタイムまたはスプリットタイム表示中にボタンBを押すと、表示が互いに切り替わります。
- ※この時、下段に表示されたラップタイムまたはスプリットタイムは、秒単位となります。



(3) 計測データの消去

●1つのチャンネルを消去する場合

- ボタンDを押してリコールモードに切り替えてください。
※最新のメモリーチャンネルが表示されます。
- ボタンCを押して、消去したいメモリーチャンネルを選択します。
- ボタンBを押し続けると、上段に「CLR?」が点滅します。
- ボタンBをさらに押し続け、中段に「ALL」が表示されたら、ボタンBをはなします。
※「ビッ、ビッ、ビッ」と確認音が鳴り、選択したチャンネルが消去されます。



リコールモード

37

※消去したチャンネル以降のチャンネル番号がひとつずつ繰り下がります。例えば、「CH10」までメモリーがあり「CH7」を消去した場合、消去前の「CH8」、「CH9」、「CH10」が、消去後はそれぞれ「CH7」、「CH8」、「CH9」となります。

※最新のチャンネル以外のチャンネルを消去した場合、消去したチャンネル番号が再び表示されますので、計測日で消去が完了したことを確認してください。

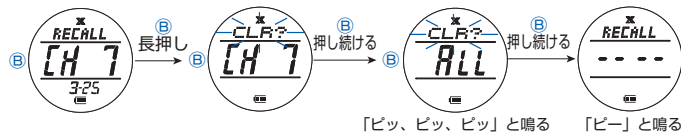
●すべてのデータを消去する場合

① ボタン**D**を押してリコールモードに切り替えてください。

※最新のメモリーチャンネルが表示されます。

② ボタン**B**を押し続けると、上段に「CLR?」が点滅します。

③ ボタン**B**をさらに押し続けると、「ビッ、ビッ、ビッ」と確認音が鳴り、中段に「ALL」が表示されますので、ボタン**B**をさらに押し続けます。「ビー」と確認音が鳴り、中段に「-----」が表示されます。



※メモリーにデータが記録されていない状態で、ボタン**D**を押してリコールモードに切り替えると、右端の「-----」の画面が表示されます。

(2) タイマーの設定のしかた

例：タイマー減算時間を「3分」、リピート回数を「5回」に設定する場合

① ボタン**D**を押して「タイマー表示」状態にしてください。

② ボタン**B**を長押しすると、「時」が点滅表示し「タイマー設定」状態になります。

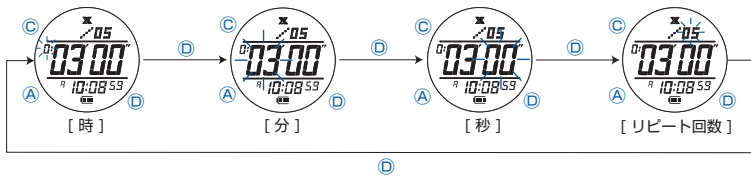
ボタン**D**を押すごとに、合わせたいところ(点滅)を選ぶことができます。

※タイマーがリセットされていないと「タイマー設定」状態になりません。タイマーのリセットのしかたは、P.41「タイマー計測のしかた」を参照してください。

③ 設定する箇所を点滅させたあと、ボタン**C**を1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。(ボタン**A**を押すごとに1つずつ戻ります。)

※ボタン**A**またはボタン**C**を長押しすると早送りができます。

④ 設定が終わりましたらボタン**B**を押して設定状態を解除します。忘れた場合でも2~3分で「タイマー表示」に自動的に戻ります。

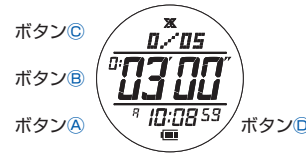


タイマーモードの使いかた

- ・設定した時間を減算するカウントダウンタイマーです。
- ・10秒から9時間59分59秒まで1秒単位で設定できます。
- ・カウントダウンを繰り返すリピート機能があり、1~99回まで設定ができます。現在計測中のリピート回数を表示します。

(1) ボタンの名称とはたらき

・ボタン**D**を押してタイマーモードに切り替えてください。上段に「TIMER」と表示した後、上段にリピート回数、中段にタイマー設定時間、下段に現在時刻を表示します。



- ボタン**A**：・リセット
・修正箇所の手合わせ(戻り)
- ボタン**B**(長押し)：タイマー設定状態の呼び出し
- ボタン**C**：・スタート/ストップ
・修正箇所の手合わせ(進み)
- ボタン**D**：・アラームモードへの切替
・修正箇所の手合わせ

(3) タイマー計測のしかた

① リセット状態でボタン**C**を押し、タイマーの計測をスタートします。

② 計測状態でボタン**C**を押し、タイマーの計測をストップします。

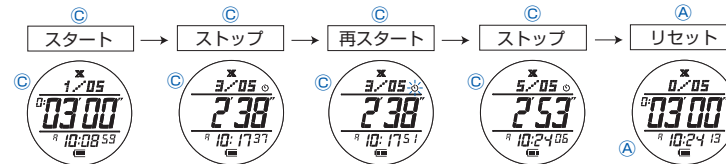
③ 停止状態でボタン**A**を押し、タイマーをリセットします。

※途中ボタン**C**を押し、ストップ・再スタートを繰り返すことができます。

※計測中に表示(モード)を切り替えても、タイマーの計測は継続されます。

※タイムアップする3秒前に予告音が鳴り、タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴ります。

※鳴っているタイムアップ音を止めるには、**A**、**B**、**C**、**D**いずれか1つのボタンを押してください。



※リピート回数の各回で、残り時間が1分未満となると、時計の外周のドットが点灯し、残りの秒数の経過に合わせて一つ一つ消灯していきます。



アラームモードの使いかた

指定した時刻(時・分)に毎日報知する3チャンネルのデイリーアラームです。チャンネル毎に、アラームのon/-- (設定/解除)の切り替えができます。

【ご注意】アラームは、時刻・カレンダーモードで設定したホームタイムに合わせて鳴ります。ワールドタイムに合わせてアラームを設定することはできません。

(1) ボタンの名称とはたらき

・ボタン①を押してアラームモードに切り替えてください。上段に「ALARM」と表示した後、アラームチャンネル「AL1 - -」～「AL3 - -」を表示します。中段に各チャンネルのアラーム設定時刻、下段に現在時刻を表示します。

※アラームが設定されている場合は、「AL1 on」のように表示されます。



ボタン①: ・アラームの設定/解除の切替
・修正箇所合わせ(戻り)
ボタン②(長押し): アラーム時刻修正状態の呼び出し
ボタン③: ・アラームチャンネルの切替
・修正箇所合わせ(進み)
ボタン④: ・ソーラーモニターモードへの切替
・修正箇所の選択

42

(2) アラームの使いかた

・3チャンネルとも、使いかたは同じです。

例: 「アラーム1 (AL1)」において、アラーム時刻を「午前6時30分」に合わせる場合

①ボタン①を押して「AL1」を呼び出します。ボタン②を長押しすると「アラーム時刻合わせ」状態になり、「時」が点滅します。

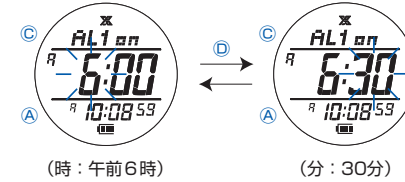
②ボタン②を押すごとに、「時」と「分」が交互に点滅表示となります。合わせたいところ(点滅)をボタン④で選択してください。

③ボタン③を1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。(ボタン①を押すごとに1つずつ戻ります。)

※ボタン①またはボタン③を長押しすると早送りができます。

④時刻合わせが終わりましたらボタン②を押して「アラーム時刻合わせ」状態を解除します。忘れた場合でも2~3分で「アラーム1 (AL1)」表示に自動的に戻ります。

※「アラーム時刻合わせ」状態を解除すると、アラームが自動的に設定 (on) されます。



(時: 午前6時)

(分: 30分)

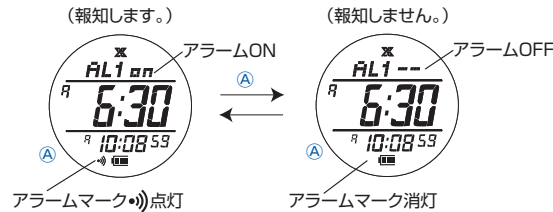
43

(3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合

・「アラーム表示」でボタン①を押すごとにアラームの設定 (on) と解除 (--) ができます。

※3チャンネルのうちいずれかが設定されていると、アラームマーク①が点灯します。

※アラームが設定されている場合は、どのモードでもアラームマーク①が表示されます(パワーセーブ・スリープ機能がONの状態および修正状態の場合を除きます)。



(4) 鳴っているアラームを止めるには

・アラームは指定した時刻になると、10秒間鳴り続けます。

鳴っているアラームを途中で止めたい場合は、いずれかのボタンを押してください。

※どの表示の時でも、この操作は可能です。

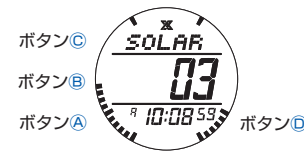
44

ソーラーモニターモードの使いかた

現在のソーラーパネルの発電レベルと電池残量を検出し、それぞれ11段階で表示します。充電の目安となります。発電レベルは中段の数値と外周の右側のドット数により、電池残量は外周の左側のドット数により表示します。

(1) ボタンの名称とはたらき

・ボタン①を押してソーラーモニターモードに切り替えてください。上段に「SOLAR」と表示し、外周の左右のドットが点灯した後、上段に「SOLAR」と「LEVEL」を交互に表示し、中段と下段にそれぞれ発電レベルと現在時刻が表示されます。



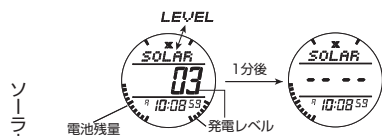
ボタン①: 発電レベルの再表示
ボタン②: 機能はありません
ボタン③: 機能はありません
ボタン④: 時刻・カレンダーモードへの切替

ソーラーモニターモード

8

45

(2) 表示の説明

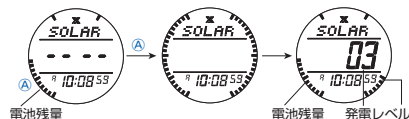


発電レベル：中段の数値と5～11時位置の外周ドットにより11段階(00～10)で表示します。中段の数値の「1」が外周ドット2個分に相当します。1分間、1秒毎に表示を更新します。その後は表示を停止します。

電池残量：7～11時位置の外周ドットにより電池残量を11段階(0～100%)で表示します。1分毎に表示を更新します。

(3) 発電レベルの再表示のしかた

・中段に「-----」が表示された状態で、ボタン(A)を押してください。外周の左右のドットが点灯した後、現在の発電レベルが1分間表示されます。



(4) 充電の目安について

- ・発電レベルが「06」以上であれば、時計は良好な充電状態にあります。電池残量最上端のドットが点滅し、充電が進行していることを示します(P.13「(1) 充電のしかた」参照)。
- ・電池残量のドットが2個になったら、積極的に充電を心がけてください。電池残量が少なくなっており、液晶パネルの電池マークのドットが点滅状態となります(P.15「(3) 表示と電池残量について」参照)。

お手入れについて


●日ごろからこまめにお手入れしてください

- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
- ※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
→ 性能と型式について P.50 防水性能について P.48

防水性能について

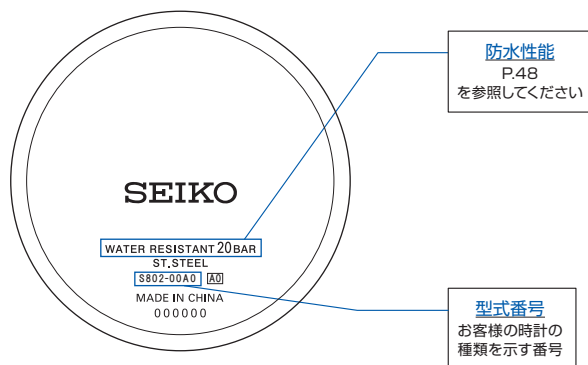
お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

(「P.50」をご覧ください)

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。  警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10 (20) 気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます



※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

ご注意ください

9

50

●皮革バンド

- ・ 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・ 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・ 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・ 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・ 時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などのご使用はお控えください。

●ポリウレタンバンド

- ・ 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・ 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・ 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください)
- ・ 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

●シリコンバンド

- ・ 材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- ・ 他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



ご注意ください

9

52

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

●金属バンド

- ・ ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・ 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。残った水分は柔らかな布でふき取ってください。)
- ・ チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・ さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・ 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

ご注意ください

9

51

使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出ください。



警告

■ 二次電池交換時のご注意

- ・ 二次電池は取り出さないでください。二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
- ・ 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

ご注意ください

9

53

※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※ フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす P.14」を参照してください。



警告

■ 充電時のご注意

- ・ 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- ・ 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- ・ 時計が 50℃ 以上にならないようにしてください。

● 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・ 長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。
ご使用状況によっては、漏液により表示消えが生じることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・ 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

アフターサービスについて

● 保証と修理について

- ・ 修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・ 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・ 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・ 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- ・ この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・ 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● ライト（EL：エレクトロルミネッセンス）について

ライト（内部照明）として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間経過すると半減します。使用中にライトが暗くなったときは、まず十分に充電してください。十分に充電しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受け

● 液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、7年を過ぎるとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受け

こんなときは

現象	考えられる原因	このようにしてください
止まっていた時計を、「フル充電までの所要時間」を超えて充電しても作動しない	あてる光が弱い	晴れた日の野外など、十分な明るさのある環境で充電してください。
	時計内部のシステムが不安定になっている	システムリセットをしてください。詳しくは P.60「システムリセットのしかた」を参照ください。
時計が一時的に進む、または遅れる	時計を暑いところ、または寒いところに放置した	常温に戻れば元の精度に戻ります。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時刻が1時間単位でずれている(1)	ホームタイムの都市設定が表示されていない	ホームタイムの都市設定を確認し、設定しなおしてください。日本時間を表示させたいときは、都市設定をTYO(東京)にしてください。詳しくは P.22 を参照ください。

困ったときは

10

58

現象	考えられる原因	このようにしてください
時刻が1時間単位でずれている(2)	ホームタイムにサマータイム(DST)が設定されている	ホームタイム時刻表示の左側にDSTと表示されていると、サマータイムが設定されています。サマータイム設定が必要でないときは、サマータイムをOFFにしてください。詳しくは P.22 を参照ください。
ボタンを押しても反応しない 何も表示されない	電池残量が少なくなっている	P.15「表示と電池残量について」を参照のうえ、充電をしてください。
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った	お買い上げ店にご相談ください。

困ったときは

10

59

システムリセットのしかた

万が一、異常な動きになったときは、システムリセットをすることで正常に機能するようになります。

①ボタンA、B、C、Dを同時に長押しし、表示が消えたら離します。



②リセットされます。

表示がない状態から復帰すると、時刻・カレンダーモードの時刻表示になります。時刻、カレンダーは2018年1月1日、午前12時00分からカウントを始めます。正しい時刻で使っていただくためにシステムリセット後は時刻合わせを行ってください。
※復帰後は、ホームタイムは日本時間(都市コード:TYO)、ワールドタイムはGMT(グリニッジ標準時)になります。

困ったときは

10

60

製品仕様

1. 水晶振動数	32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
2. 精度	平均月差±20秒(気温5℃~35℃において腕に着けた場合)
3. 作動温度範囲	-10℃~+60℃(ただし表示機能は0℃~+50℃)
4. 表示内容	時刻・カレンダーモード……………日、曜日、A/P(12時間制のとき表示)、時、分、秒 ホームタイムとワールドタイムのデュアルタイム表示、ワールドタイムマーク、サマータイムマーク、(アラームマーク、時報マーク) ストップウォッチモード……………1/10秒単位で最大9時間59分59秒9まで計測、ラップ/スプリットタイム、ラップ/スプリット回数、現在時刻、ストップウォッチマーク、(アラームマーク、時報マーク) リコールモード……………トータルタイム、ラップ/スプリットタイム、ベストラップタイム、平均ラップタイム、ラップ/スプリット回数、メモリーチャンネル、計測日(月・日)、(アラームマーク、時報マーク) タイマーモード……………秒単位で最大9時間59分59秒まで設定可能、リピート回数、現在時刻、タイマーマーク、毎回残り時間1分未満にグラフィック表示、(アラームマーク、時報マーク) アラームモード……………アラームセット時刻(時・分)、A/P(12時間制のとき表示)、「on/ー」(セット/解除)マーク、アラームチャンネル(AL1、AL2、AL3)、現在時刻、(アラームマーク、時報マーク) ソーラーモニターモード……………発電レベル(11段階)、電池残量(11段階)、現在時刻、(アラームマーク、時報マーク)
5. 表示体	FE(電界効果)型ネマチック液晶
6. 使用電源	二次電池:1個
7. 持続時間	約5ヶ月(フル充電後に光が当たらず、1日あたりライト1回(2秒)、アラーム1回(10秒間)/日、パワーセーブ6時間/日で使用)
8. 内部照明	EL(エレクトロルミネッセンス)
9. 電子回路	発振、分周、駆動、EL回路:C-MOS-IC 1個

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

製品仕様

11

61

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.
 For proper and safe use of your SEIKO watch,
 please read carefully the instructions in this
 booklet before using "it."

Keep this manual handy for easy reference.

- ※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased. If you cannot have your watch repaired by the retailer from whom the watch was purchased because you received the watch as a gift or you moved to a distant place, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
 The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.
- ※ If your watch has a protective film for preventing scratches, make sure to peel it off before using the watch. If the watch is used with the film on it, dirt, sweat, dust, or moisture may be attached to the film and may cause rust.

Contents	
1. ABOUT THIS PRODUCT	
Handling Precautions	66
Features	70
Names and Functions of Buttons	71
Mode Change and Functions of each mode	72
Mark descriptions	74
2. BEFORE USE	
How to Charge the Watch	75
(1) How to charge	75
(2) Guidelines of charging duration	76
(3) Display and amount of power reserve	77
■ Power reserve	77
■ Power save and sleep functions	79
How to Use Rotating Bezel	81
3. TIME/CALENDAR MODE	
How to Use Time/Calendar Mode	83
(1) Buttons and functions	83
(2) How to set time, calendar, city name	84
DST for home time	84
(3) How to adjust contrast	86
(4) How to set Power Save function	87
(5) How to adjust sensitivity to tap input	88
(6) How to use dual time display	89
1) Changeover of display positions of home time and world time	89
2) Selection of world time city	90
3) DST setting for world time city	90
(7) List of world time cities and time differences	91
(8) Alarm test and turning on/off of hourly time signal and button confirmation sound	92
4. STOPWATCH MODE	
How to Use Stopwatch Mode	93
(1) Buttons and functions	93
(2) Changeover between lap and split time displays	95
(3) How to use stopwatch	95
1) Accumulated elapsed time measurement	95
2) Lap/split time measurement	96
5. RECALL MODE	
How to Use Recall Mode	97
(1) Buttons and functions	97
(2) How to check measurement data	98
(3) Deletion of measurement data	99
6. TIMER MODE	
How to Use Timer Mode	101
(1) Buttons and functions	101
(2) How to set timer	102
(3) Timer operation	103
7. ALARM MODE	
How to Use Alarm Mode	104
(1) Buttons and functions	104
(2) How to set alarm	105
(3) Engagement/disengagement of alarm	106
(4) How to stop alarm sound	106
8. SOLAR MONITOR MODE	
How to Use Solar Monitor Mode	107
(1) Buttons and functions	107
(2) Explanation of display	108
(3) To resume generation level display	108
(4) Guidelines of charging	108
9. TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH	
Daily Care	109
Water Resistance	110

Performance and Type	112	1
Band	113	
Power Source	115	2
After-Sale Service	117	
10. TROUBLESHOOTING		
Troubleshooting	120	3
How to Reset Built-In IC	122	
11. SPECIFICATIONS		
Specifications	123	4
		5
		6
		7
		8
		9
		10
		11

Handling Precautions

⚠ WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Immediately stop wearing the watch in the following cases.
 - If the watch body or band becomes edged by corrosion, etc.
 - If the pins protrude from the band
 - ※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing accessories. If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor as it will be harmful to the health of the baby or child.
- Do not remove the secondary battery from the watch.

※ For the precautions on the secondary battery, refer to "Power Source" on P. 115. Replacement of the secondary battery requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the secondary battery. Installation of an ordinary silver oxide battery can generate heat that can cause bursting and ignition.

⚠ CAUTION

To indicate the risks of light injuries or material damage unless the following safety regulations are strictly observed.

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.
 - Places where volatile agents (such as polish remover, bug repellent, thinners, etc.) are vaporizing
 - Places where the temperature drops below 5 °C or rises above 35 °C for a long time
 - Places of high humidity ○ Places affected by strong magnetism or static electricity
 - Dusty places ○ Places affected by strong vibrations
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation, stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.
- Other cautions
 - Replacement of the metal band requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the metal band, as there is a risk of hand or finger injury and a fear of lost parts.
 - Do not disassemble or tamper with the watch.
 - Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
 - When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
 - If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

⚠ WARNING



Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on this watch. For diving, use special watches for diving.

⚠ CAUTION



Do not pour running water directly from faucet on to the watch.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

⚠ CAUTION



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.
Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

■ TIME/CALENDAR FUNCTION

The calendar adjusts automatically for odd and even months including February of leap years from 2018 to 2067. Summer time (daylight saving time [DST]) can be set.

■ DUAL TIME DISPLAY FUNCTION

Home time and world time (time of a city selected from 44 cities in the world [including GMT]) are shown on the same display. DST can be set for each of the cities.

■ STOPWATCH AND RECALL FUNCTIONS

The stopwatch can measure up to 9 hours, 59 minutes, and 59 seconds 9. Up to 100 lap/split times can be stored in memory, which can be recalled after measurement.

■ SOLAR CHARGE FUNCTION

The solar panel on the dial converts light into electrical energy to power the watch. Once fully charged, the watch keeps running for approximately five months without being exposed to light.

■ POWER SAVE AND SLEEP FUNCTIONS

If the watch is left untouched for a given period of time without being exposed to light and any button operation, the Power Save or Sleep function is activated to save battery power.

■ SOLAR MONITOR FUNCTION

The present level of solar power generation and the amount of power reserve are displayed in 11 levels respectively. They serve as guidelines for charging the watch.

■ TURNING ON OF BACKLIGHT WITH TAP INPUT

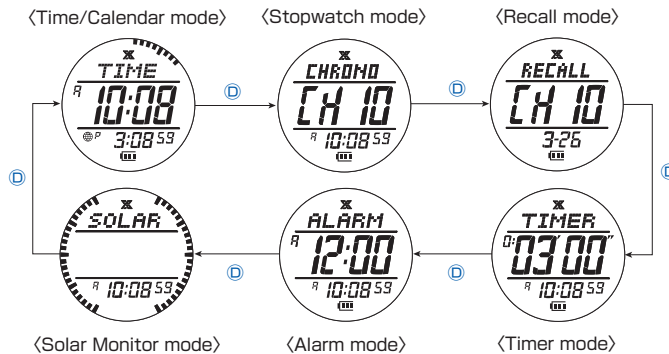
When the watch is worn on the wrist, the backlight lights up for two seconds with a single light tap on the watch face.

- The buttons are named A to D in clockwise order from the one in the bottom left.
- Pressing Button D changes the modes.
- Markings inscribed on the case near each button indicate its main functions.
- The dots on the dial's edge indicate the current minutes in the Time/Calendar mode, and the current level of solar power generation and the amount of power reserve in the Solar Monitor mode.



※ The markings on the case and the design of the watch may differ from model to model.







- With each press of Button D, the mode changes in the following order.



- A single light tap on the watch face turns on the backlight for two seconds in any mode.






	Mode mark shown on top row	Function	Refer to:
Time/Calendar mode	TIME	<ul style="list-style-type: none"> • Setting and display of time, date and day of week; and fully automatic calendar from 2018 to 2067 • Selection of home city; DST setting; contrast adjustment; power save setting; and adjustment of sensitivity to tap input • World time display; and DST setting for each city • Turning on/off of hourly time signal/button operation confirmation sound; and alarm test 	P. 83
Stopwatch mode	CHRONO	<ul style="list-style-type: none"> • Stopwatch measurement (in 1/10 sec increment) • Measures up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds 9. • Measurement of lap/split times and storage thereof (up to 100 data) in channels. 	P. 93
Recall mode	RECALL	<ul style="list-style-type: none"> • Recall and deletion of data measured and stored in the Stopwatch mode 	P. 97
Timer mode	TIMER	<ul style="list-style-type: none"> • Can be set to count down from 10 seconds up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds. • Countdown can be repeated up to 99 times. 	P. 101
Alarm mode	ALARM	<ul style="list-style-type: none"> • 3-channel daily alarm • Alarm can be engaged/disengaged channel by channel. 	P. 104
Solar Monitor mode	SOLAR	<ul style="list-style-type: none"> • Display of current level of solar power generation and amount of power reserve 	P. 107

Mark Descriptions

-  Battery mark : Indicates remaining amount of power reserve graphically.
- PS** Power Save mark : Indicates that Power Save function is in operation.
- SL** Sleep mark : Indicates that Sleep function is in operation.
-  Stopwatch mark : Flashes when stopwatch is measuring, and lights up when it is stopped.
-  Timer mark : Flashes when timer is counting, and lights up when it is stopped.
-  World time mark : Indicates that the time attached with it is world time.
- DST** DST mark : Shown in Time/Calendar mode when DST is set.
-  Alarm mark : Shown when alarm is engaged.
-  Hourly time signal mark : Shown when hourly time signal/button operation confirmation sound is turned on. When it is shown, hourly time signal rings every hour on the hour.

(2) Guidelines of charging duration

Charge the watch properly by referring to the table below.

Battery mark	Display is all blank						For one day's operation
Environment 1 Outdoor on a sunny day Generation level: 10	Approximately 1 hour	Approx. 2 hours	Approx. 2 hours	Approx. 1 hour	Approx. 2 minutes		
Environment 2 By a window on a sunny day Generation level: 6	Approximately 10 hours	Approx. 16 hours	Approx. 24 hours	Approx. 11 hours	Approx. 22 minutes		
Environment 3 By a window on a cloudy day Generation level: 4	Approximately 20 hours	Approx. 33 hours	Approx. 48 hours	Approx. 22 hours	Approx. 44 minutes		
Environment 4 Indoor under fluorescent light Generation level: 2	Approximately 200 hours				Approx. 8 hours		

※"Generation level" is a guideline of the level of solar generation that the Solar Monitor mode of the watch displays in 10 levels in each environment above. For more details, see "How to Use Solar Monitor Mode" on P. 107.

Once fully charged, the watch keeps operating for approximately 5 months without being exposed to light. If any one of the following functions is used more often or longer than specified below, the watch may run down in less than 5 months.

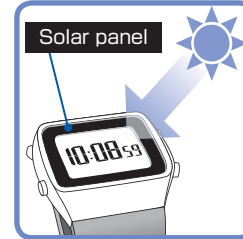
- Alarm sound: 10 seconds/day · Backlight: Once/day for 2 seconds
- Power save: 6 hours/day

※Note that frequent use of the backlight will cause the power reserve to decrease faster.

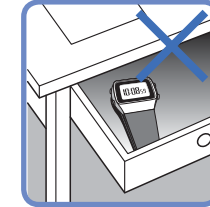
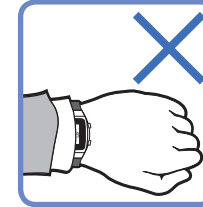
How to Charge the Watch

(1) How to charge

Expose the solar panel to light.



To enjoy the optimum performance of the watch, make sure that the watch is sufficiently charged at all times.



Under the following conditions, the watch is not charged sufficiently and the battery energy is likely to be depleted, resulting in stoppage of the watch.

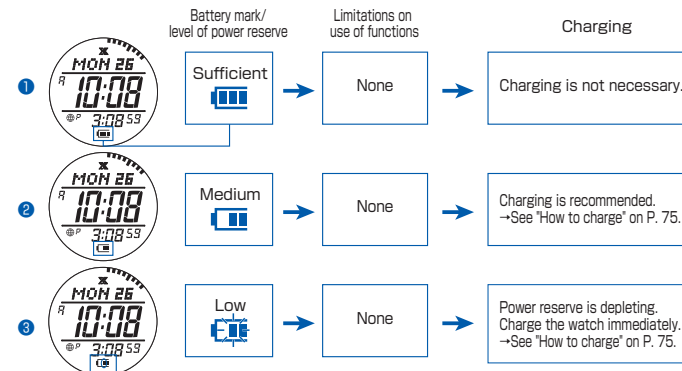
- The watch is concealed under the sleeve.
- The watch is used or stored under an environment where it is hardly exposed to light.

- ※When charging the watch, take care not to expose the watch to extremely high temperatures. The operational temperature range of the watch is between -10°C and +60°C.
- ※When using the watch for the first time after purchase or after it has stopped completely due to energy depletion, charge the watch for sufficient duration by referring to the table on the next page.

(3) Display and amount of power reserve

■ Power reserve

The battery mark on the display shows the remaining amount of battery power.





• How to set the time period before the Power Save function is activated

Use the Time/Calendar Setting display to select the time period before the Power Save function is activated or turn it off.

The time period before activation can be selected from 30 minutes, 1 hour, 2 hours, and 4 hours.

The default setting is 30 minutes.

Refer to "How to set Power Save function" on P. 87.

※In the following cases, neither the Power Save nor the Sleep function will be activated.

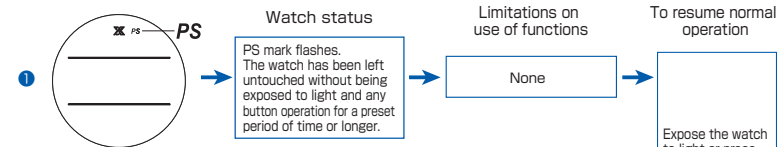
- When the amount of power reserve is sufficient (); and
- While the stopwatch or timer is in operation.

■ Power save and sleep functions

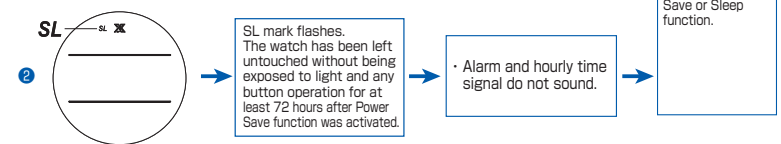
Power Save function: If the watch is left untouched without being exposed to light and any button operation for a preset period of time or longer, the Power Save function is activated to save battery power.

Sleep function: If approximately 72 hours have passed after the power save function is activated, the Sleep function is automatically activated.

[Display and functions while Power Save function is activated]



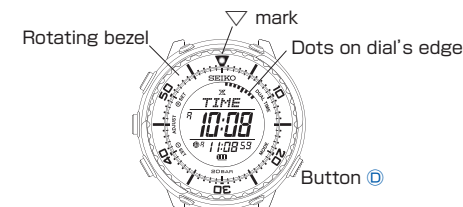
[Display and functions while Sleep function is activated]



How to Use Rotating Bezel (for models with a rotating bezel)

● If your watch has a rotating bezel, the time that has elapsed from a certain point in time can be measured by using the rotating bezel in the Time/Calendar mode.

※Please note that the time measured with the rotating bezel provides the guideline of the elapsed time only.



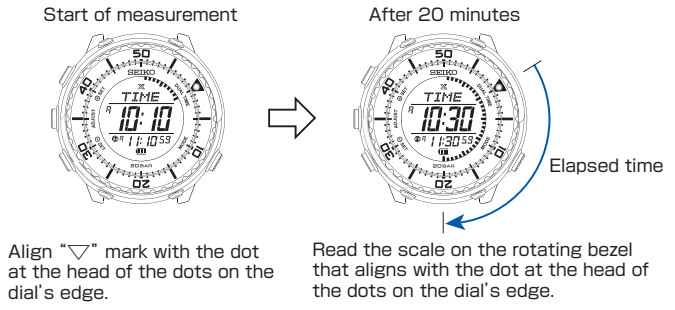
① Press Button to show the Time/Calendar mode.

※In the Time/Calendar mode, the dots on the dial's edge indicate the current minutes graphically.

② When starting measurement of elapsed time, turn the rotating bezel to align its "▽" mark with the dot at the head of the dots on the dial's edge (the dot indicating the current minutes).

※ The rotating bezel can be turned either clockwise or counterclockwise.

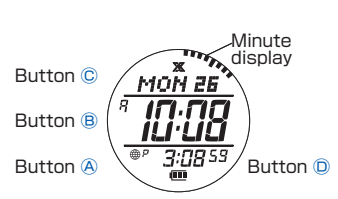
③ The time that has elapsed thereafter can be checked by reading the scale on the rotating bezel that aligns with the dot at the head of the dots on the dial's edge.
Ex.) When elapsed time measurement is started at 10:10:



How to Use Time/Calendar Mode

(1) Buttons and functions

- Press Button **D** to show the Time/Calendar mode. After "TIME" appears in the top row, the home and world times are shown in the top and middle rows and bottom row or vice versa, respectively.
- ※ The Time/Calendar mode shows a dual time display that indicates both the home time and world time. Their display positions can be changed over as desired, and the world time mark "⊕" is shown in the row where the world time is displayed. For details, see "(6) How to use dual time display" on P. 89.

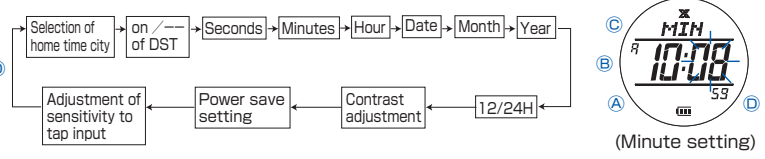


※ The dots on the dial's edge show the lapse of Minutes.

Button A	• To set flashing digits (to decrease) • To select world time city (in reverse order)
Button A (Press and hold)	To set/cancel DST for world time
Button B	To change over display positions of home time and world time
Button B (Press and hold)	To activate Time/Calendar Setting function
Button C	• To set flashing digits (to increase) • To select world time city (in forward order)
Button C (Press and hold)	To turn on/off hourly time signal/button operation confirmation sound
Button D	• To show Stopwatch mode • To select digits to be adjusted (flashing)

(2) How to set time, calendar, city name and DST for home time

- Press and hold Button **B** to activate the Time/Calendar Setting function. The city name currently set as the home time city is displayed.
- With each press of Button **D**, the digits to be adjusted (flashing) change in the following order:



- ※ Once the year, month and date are set, the day of the week is set automatically.
- ※ If GMT is selected as the home city, the display for setting DST is skipped.
- ※ When DST is set to "on," the DST mark lights up, and the time is advanced by one hour.

• Daylight Saving Time (DST)
The daylight saving time (DST) is a system of advancing the standard time by one hour to make the best use of the daylight during summer. It is adopted by about 80 countries in the world. The period when DST is in effect varies from country to country or region to region.

- ※ The time to be advanced for DST may be changed from time to time by the authorities concerned in each country or region.
- ※ The time to be advanced may be in 15- or 30-minute increments in some countries or regions.

- Press Button **D** to select the flashing second digits, and then, press Button **A** or **C** in accordance with a time signal. The seconds are reset to "00."
 - ※ If Button **A** or **C** is pressed while the second digits count any number between 30 and 59, one minute is added and the second digits are reset to "00."
 - ※ The telephone time signal service (TEL 117) is useful for setting the seconds accurately.
- Press Button **D** to select the digits to be adjusted (flashing), and then, press Button **A** or **C** to set them. With each press of Button **A** or **C**, the digits other than seconds decrease or increase by one, and the city name changes in reverse or forward order, respectively.
 - ※ The digits move quickly by pressing and holding Button **A** or **C**.
- After the time/calendar setting procedure is completed, press Button **B** to return to the Time/Calendar display. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to the Time/Calendar in 2 to 3 minutes.

- ※ The watch is equipped with a fully automatic calendar. The year, month, date and day of the week are pre-programmed from 2018 to 2067. During those years, the calendar adjusts automatically for odd and even months including February of leap years.
- ※ If DST is set for the home time and the same city is selected as the world time city in the dual time display, the DST setting is also applied to the world time.
- ※ While the time/calendar setting is being made, all the digits of the display may light up. This is not a malfunction. If this happens, press any of the buttons to return to the Time/Calendar display, and then, resume the setting procedure from Step ① of (2) above.

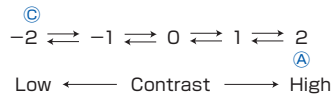
(3) How to adjust contrast

The contrast (brightness) of the display can be adjusted. It is factory-adjusted to "0."

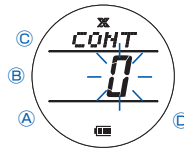
- Press Button **D** to show the Time/Calendar mode.

- 3**
- Press and hold Button **B** to activate the Time/Calendar Setting function. The home time city currently selected appears in the top row.
 - Press Button **D** repeatedly to show the contrast adjustment display (CONT).
 - Press Button **A** or **C** to adjust the contrast. The display becomes brighter with each press of Button **C**, and darker with each press of Button **A**.

TIME/CALENDAR MODE



Contrast level: "0"



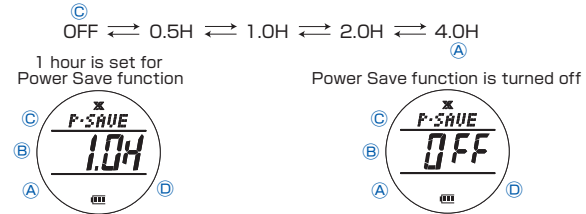
- After the contrast adjustment is completed, press Button **B** to return to the Time/Calendar display. If the watch is left untouched with the digit flashing, the display automatically returns to the Time/Calendar in 2 to 3 minutes.

86

(4) How to set Power Save function

The time before the Power Save function is activated can be set. It is factory-adjusted to 30 minutes (0.5H).

- Press Button **D** to show the Time/Calendar mode.
- Press and hold Button **B** to activate the Time/Calendar Setting function. The home time city currently selected appears in the top row.
 - Press Button **D** repeatedly to show the Power Save setting display (P-SAVE).
 - Press Button **A** or **C** to select the time before Power Save function is activated or turn it "OFF."



※If the watch is left untouched without being exposed to light and any button operation for a preset time or longer, the Power Save function turns off the display to reduce energy consumption. To deactivate the Power Save function and return to the previous display, expose the watch to light or press any of the buttons.

- After the Power Save setting is completed, press Button **B** to return to the Time/Calendar display. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to the Time/Calendar in 2 to 3 minutes.

TIME/CALENDAR MODE

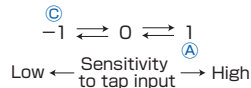
87

(5) How to adjust sensitivity to tap input

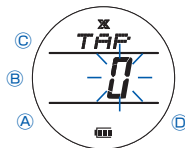
When the watch is worn on the wrist, the backlight can be activated for two seconds by lightly tapping the watch face once. The sensitivity to tap input can be adjusted. It is factory-adjusted to "0."

- Press Button **D** to show the Time/Calendar mode.
- Press and hold Button **B** to activate the Time/Calendar Setting function. The home time city currently selected appears in the top row.
 - Press Button **D** repeatedly to show the display for adjusting the sensitivity to tap input (TAP).
 - Press Button **A** or **C** to adjust the sensitivity. The sensitivity can be increased by pressing Button **C**, and decreased by pressing button **A**.
 - ※ If the backlight will not light up easily by lightly tapping the watch face, set the sensitivity to tap input to "1."

TIME/CALENDAR MODE



Sensitivity to tap input: "0"



- After the adjustment of the sensitivity to tap input is completed, press Button **B** to return to the Time/Calendar display. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to the Time/Calendar in 2 to 3 minutes.

88

(6) How to use dual time display

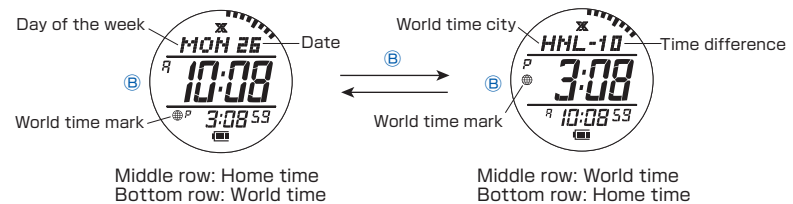
The Time/Calendar mode shows a dual time display that indicates both the home time and world time on the same display. The world time city can be selected from 44 cities in the world, and DST can be set for each of them.

※When GMT is selected as the world time city, DST setting cannot be made.

1) Changeover of display positions of home time and world time

With each press of Button **B**, the display positions of the home time and world time are changed over between the middle and bottom rows.

※The world time mark "🌐" is shown in the row where the world time is displayed.

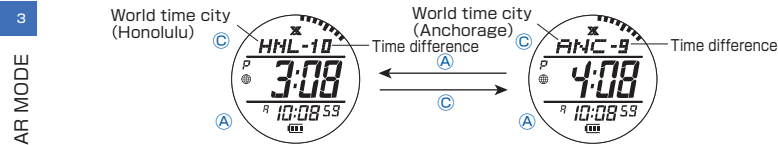


TIME/CALENDAR MODE

89

2) Selection of world time city

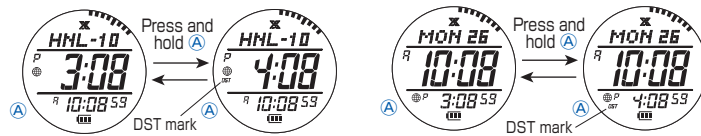
While the world time is shown in the middle row, press Button **A** or **C** to select the desired world time city. With each press of Button **A** or **C**, the world time city changes one by one in reverse or forward order, respectively.



3) DST setting for world time city

With each continuous press of Button **A**, DST can be set and canceled for the world time alternately, irrespective of the display position of the world time.

※When DST is set for the world time, the "DST" mark is shown below the world time mark "🌐", and the time is advanced by one hour.



90

(7) List of world time cities and time differences

(GMT stands for Greenwich Mean Time. "+" and "-" mean that the time of the city is ahead of and behind GMT, respectively.)

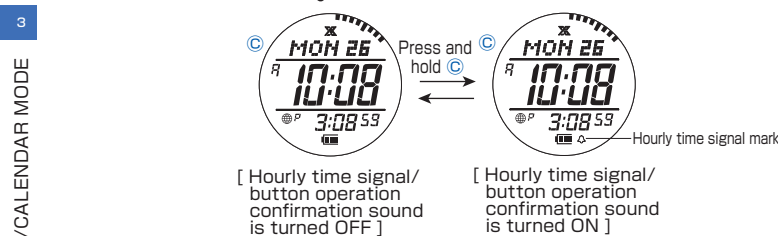
No.	Code	World time city	Difference from GMT	No.	Code	World time city	Difference from GMT
1	GMT	GMT	00:00	23	BJS	Beijing	+ 08 : 00
2	LIS	Lisbon	00:00	24	SEL	Seoul	+ 09 : 00
3	LON	London	00:00	25	TYO	Tokyo	+ 09 : 00
4	PAR	Paris	+ 01 : 00	26	ADL	Adelaide	+ 09 : 30
5	ROM	Rome	+ 01 : 00	27	GUM	Guam	+ 10 : 00
6	BER	Berlin	+ 01 : 00	28	SYD	Sydney	+ 10 : 00
7	ATH	Athens	+ 02 : 00	29	OOL	Gold Coast	+ 10 : 00
8	CAI	Cairo	+ 02 : 00	30	NOU	Noumea (New Caledonia)	+ 11 : 00
9	MOW	Moscow	+ 03 : 00	31	WLG	Wellington	+ 12 : 00
10	JED	Jeddah	+ 03 : 00	32	HNL	Honolulu	- 10 : 00
11	BGW	Baghdad	+ 03 : 00	33	ANC	Anchorage	- 09 : 00
12	THR	Tehran	+ 03 : 30	34	YVR	Vancouver	- 08 : 00
13	DXB	Dubai	+ 04 : 00	35	LAX	Los Angeles	- 08 : 00
14	KBL	Kabul	+ 04 : 30	36	DEN	Denver	- 07 : 00
15	KHI	Karachi	+ 05 : 00	37	CHI	Chicago	- 06 : 00
16	DEL	Delhi	+ 05 : 30	38	NYC	New York	- 05 : 00
17	DAC	Dhaka	+ 06 : 00	39	YMQ	Montreal	- 05 : 00
18	RGN	Yangon	+ 06 : 30	40	BOS	Boston	- 05 : 00
19	BKK	Bangkok	+ 07 : 00	41	SDQ	Santo Domingo	- 04 : 00
20	JKT	Jakarta	+ 07 : 00	42	BUE	Buenos Aires	- 03 : 00
21	SIN	Singapore	+ 08 : 00	43	RIO	Rio de Janeiro	- 03 : 00
22	HKG	Hong Kong	+ 08 : 00	44	PDL	Azores	- 01 : 00

(As of December 2017)

91

(B) Alarm test and turning on/off of hourly time signal and button operation confirmation sound

●With each continuous press of Button **C** in the Time/Calendar mode, the hourly time signal/button operation confirmation sound is turned on and off alternately. When it is set, the hourly time signal mark "🔔" lights up.



●The alarm sound can be tested by pressing and holding both Buttons **A** and **C** at the same time in the Time/Calendar mode.



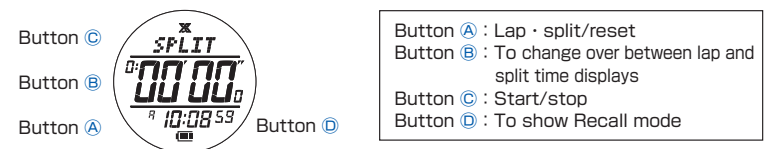
92

How to Use Stopwatch Mode

- The stopwatch measures up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds 9 in 1/10-second increments.
- Data of up to 100 laps can be measured and stored.
- The data measured from the start until the stopwatch is reset is recorded on a channel-by-channel basis, and the recording of measurement data can be repeated until the total number of laps stored in memory exceeds 100.
- The data measured and recorded in the Stopwatch mode can be recalled and checked in the Recall mode.

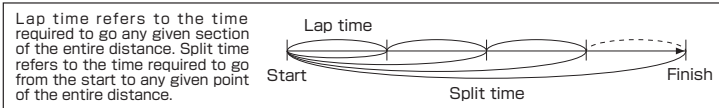
(1) Buttons and functions

- Press Button **D** to show the Stopwatch mode. After "CHRONO" and the memory channel number to be used in the next measurement, such as "CH5," are shown in the top and middle rows, respectively, the lap or split time display appears. The bottom row shows the current time.



STOPWATCH MODE

93



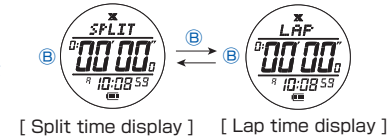
Remarks on memory usage

	Measurement procedure	Minimum memory usage
1	Start→Stop→Reset	3 to 4 units of memory
2	Start→Stop/Restart→Stop→Reset	3 to 4 units of memory
3	Start→Lap→Stop→Reset	4 to 5 units of memory
4	Start→Stop/Restart→Lap→Stop→Reset	4 to 5 units of memory
5	Start→Lap→Lap→Stop→Reset	5 to 6 units of memory

- ※ The best and average lap times are recorded besides the measurement data, and at least three units of memory are used. Though 100 units of memory can be used for storing measurement data when only one channel ("CH1") is used, the total number of units of memory available for storing measurement data is less than 100 if more than one channel of memory is used. For example, if two channels are used, up to 97 units of memory can be used for storing measurement data.
- ※ When only one channel ("CH1") is used for measurement, up to 100 laps of data can be stored. After the 100th lap, the data is measured and displayed, but will not be stored in memory for later recall.
- ※ If more than one channel is used and the number of data in memory has exceeded the limit during measurement, the data in memory is deleted on a channel-by-channel basis from the oldest one, to record new data.
- ※ For the method of selectively deleting unnecessary data, refer to "(3) Deletion of measurement data" on P. 99.

(2) Changeover between lap and split time displays

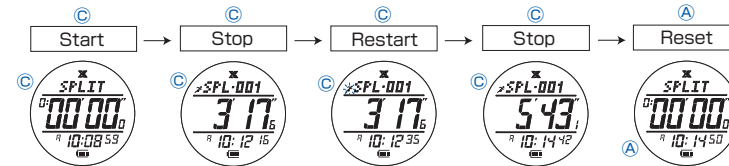
- With each press of Button B, the display changes over between the lap time and split time alternately.
- ※ Changeover of displays can be made during measurement, except while the lap time and flashing "LAP No." are kept displayed after a lap time measurement is made.



(3) How to use stopwatch

1) Accumulated elapsed time measurement (e.g., when split time display is used)

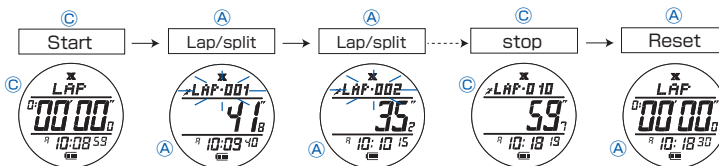
- ① Checking that the stopwatch has been reset, press Button C to start measurement.
- ② Press Button C to stop measurement.
- ③ Press Button A to reset the stopwatch.



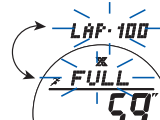
- ※ The measurement can be stopped and restarted as many times as necessary by pressing Button C.
- ※ Even if the mode is changed to another during measurement, the stopwatch continues measuring.
- ※ When the total time measured reaches 9 hours, 59 minutes and 59 seconds 9, the stopwatch is stopped and reset automatically.

2) Lap/split time measurement (e.g., when lap time display is used)

- ① Checking that the stopwatch has been reset, press Button C to start measurement.
- ② With each press of Button A, a lap/split time is measured.
- ③ Press Button C to stop measurement.
- ④ Press Button A to reset the stopwatch.



- ※ After a lap/split time is measured, the lap time measured is kept displayed in the middle row for approximately 10 seconds with the lap No. flashing in the top row.
- ※ When the lap No. reaches "100," flashing "LAP-100" and "FULL" are shown alternately to indicate that the memory capacity is exhausted. After LAP-100, lap/split data is measured and displayed but will not be stored for later recall.

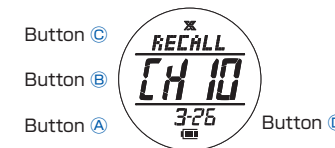


How to Use Recall Mode

- The data measured in the Stopwatch can be recalled and checked.
- The stored data is displayed channel by channel.
- The total time and the best and average lap times are displayed.
- The date of measurement (month and date) is displayed for each channel.

(1) Buttons and functions

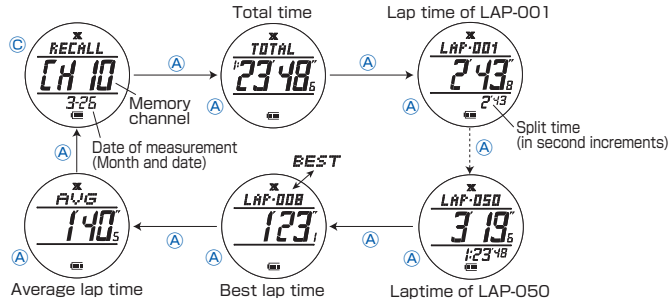
- Press Button D to show the Recall mode. "Recall," the memory channel used for the last measurement, such as "CH10," and the date of measurement are displayed in the top, middle and bottom rows, respectively.



- Button A : To display measurement data
- Button B : To change over between lap and split time displays
- Button B (Press and hold) : To delete data
- Button C : To select memory channel (in reverse order)
- Button D : To show Timer mode

(2) How to check measurement data

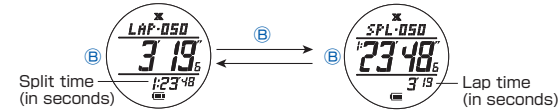
- Press Button **C** to select the memory channel you wish to check.
- With each press of Button **A**, the measurement data (total time, lap/split times, and the best and average lap times) is shown in the following order.



- By pressing and holding Button **A** while a lap/split time is displayed, the lap/split number moves quickly.
- While the best lap time is displayed, "BEST" and the lap No. thereof are shown alternately.
- By pressing Button **C** while any data is shown, the display moves to the immediately previous memory channel.

98

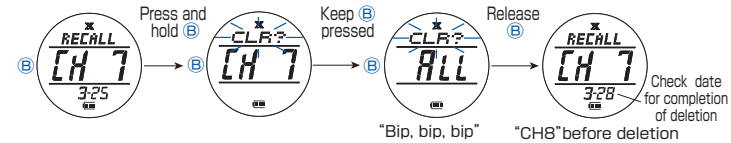
- By pressing Button **B** while a lap or split time is displayed, the display changes over between lap and split times alternately.
- The lap or split time displayed in the bottom row is shown in seconds instead of 1/10 seconds.



(3) Deletion of measurement data

To delete data channel by channel

- Press Button **D** to show the Recall mode.
 - The newest memory channel is displayed.
- Press Button **C** to select the memory channel you wish to delete.
- Press and hold Button **B** until flashing "CLR?" appears.
- Keep Button **B** pressed further, and release it when "ALL" is shown in the middle row.
 - The selected channel is deleted as the confirmation sound rings "bip, bip, bip."

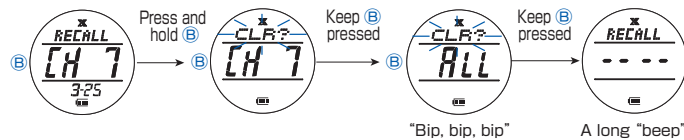


99

- After deletion of a memory channel, the channel numbers of the channels after the deleted one are decreased by one. For example, if "CH7" is deleted among the 10 channels in memory, "CH8," "CH9" and "CH10" before deletion are renumbered as "CH7," "CH8" and "CH9," respectively.
- If any channel other than the newest one is deleted, the same channel number as that of the deleted channel is displayed after deletion. Check the date of measurement for completion of deletion.

To delete all the data in memory

- Press Button **D** to show the Recall mode.
 - The newest memory channel is displayed.
- Press and hold Button **B** until flashing "CLR?" appears.
- Keep Button **B** pressed further, and "ALL" is displayed in the middle row as the confirmation sound rings "bip, bip, bip." Keep Button **B** pressed further until " - - -" is shown in the middle row with a long beep.



- When no measurement data is stored in memory, the display showing " - - -" (the rightmost one in the illustration above) is displayed when Button **D** is pressed to show the Recall mode.

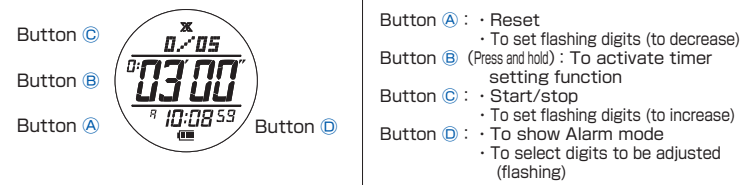
100

How to Use Timer Mode

- The timer is a countdown timer that counts down the set time.
- From 10 seconds up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds can be set in 1-second increments.
- The timer can be set to count down the set time repeatedly up to 99 times. During countdown, the number of times the countdown has been repeated including the current one is shown in the top row.

(1) Buttons and functions

- Press Button **D** to show the Timer mode. After "TIMER" is shown in the top row, the number of repetitions, countdown time and current time are displayed in the top, middle and bottom rows, respectively.



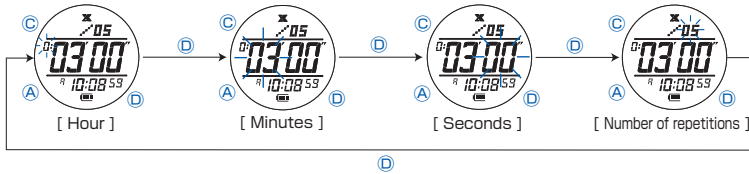
- Button **A** : · Reset
 - To set flashing digits (to decrease)
- Button **B** (Press and hold) : To activate timer setting function
- Button **C** : · Start/stop
 - To set flashing digits (to increase)
- Button **D** : · To show Alarm mode
 - To select digits to be adjusted (flashing)

101

(2) How to set timer

Ex.) To set countdown time to "3 minutes" and number of repetitions to "5"

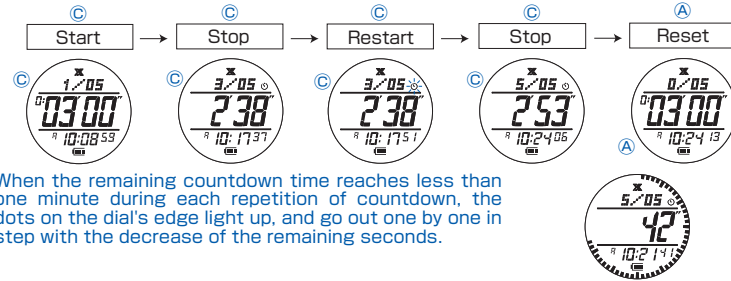
- ① Press Button **D** to show the Timer mode.
- ② Press and hold Button **B** to activate the Timer Setting function. The hour digits start flashing. With each press of Button **D**, the digits to be adjusted can be selected in order.
 - ※ Unless the timer has been reset, the Timer Setting function will not be activated. For the method of resetting the timer, refer to "Timer operation" on P. 103.
- ③ With each press of Button **C**, the flashing digits increase by one. (Each press of Button **A** decreases the digits by one.)
 - ※ The digits move quickly by pressing and holding Button **A** or **C**.
- ④ After all the adjustments are completed, press Button **B** to deactivate the Timer Setting display. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to the Timer in 2 to 3 minutes.



102

(3) Timer operation

- ① Checking that the timer has been reset, press Button **C** to start timer countdown.
- ② Press Button **C** to stop timer countdown.
- ③ Press Button **A** to reset the timer.
 - ※ The countdown can be stopped and restarted as many times as necessary by pressing Button **C**.
 - ※ Even if the mode is changed to another during countdown, the timer continues counting.
 - ※ The warning beep starts ringing 3 seconds before the set time is up, and the timeup beep sounds for 5 seconds when the set time is up.
 - ※ To stop the timeup beep manually, press Button **A**, **B**, **C** or **D**.



※ When the remaining countdown time reaches less than one minute during each repetition of countdown, the dots on the dial's edge light up, and go out one by one in step with the decrease of the remaining seconds.

103

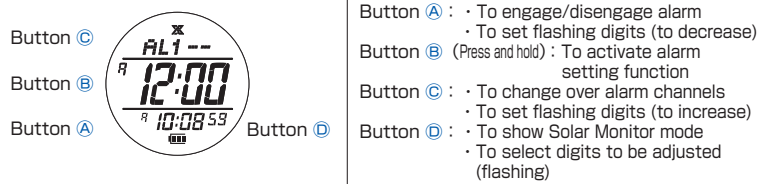
How to Use Alarm Mode

The alarm is a three-channel daily alarm that can be set to ring daily at three different designated times (hour and minutes). The alarm can be engaged or disengaged ("on" or "--") channel by channel.

[Caution] The alarm rings according to the home time set in the Time/Calendar mode. It cannot be set to ring according to the world time.

(1) Buttons and functions

- Press Button **D** to show the Alarm mode. After "ALARM" is shown in the top row, the alarm channel ("AL1 --", "AL2 --" or "AL3 --") appears instead. The alarm time set for each alarm channel and the current time are shown in the middle and bottom rows, respectively.
- ※ When the alarm is engaged, "on" is shown instead of "--" such as "AL1 on."



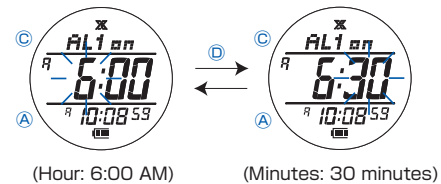
104

(2) How to set alarm

· The alarm setting procedure is the same for all the three channels.

Ex.) To set the alarm time of "AL1" to "6:30 AM"

- ① Press Button **C** to show "AL1." Then, press and hold Button **B** to activate the Alarm Setting function. The hour digits start flashing.
- ② With each press of Button **D**, the hour and minute digits flash alternately. Press Button **D** to select the digits to be adjusted (flashing).
- ③ With each press of Button **C**, the flashing digits increase by one. (Each press of Button **A** decreases the digits by one.)
 - ※ The digits move quickly by pressing and holding Button **A** or **C**.
- ④ After all the adjustments are completed, press Button **B** to deactivate the Alarm Setting display. If the watch is left untouched with the digits flashing, the display automatically returns to "AL1" in 2 to 3 minutes.
 - ※ By deactivating the Alarm Setting function, the alarm is engaged automatically.



(Hour: 6:00 AM)

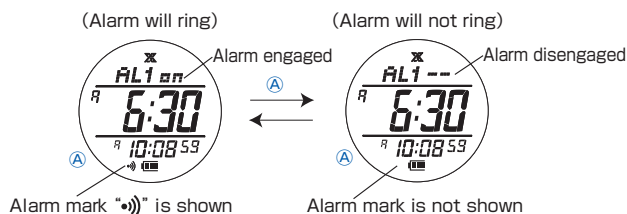
(Minutes: 30 minutes)

105

(3) Engagement/disengagement of alarm

· With each press of Button (A) in the Alarm display, the alarm is engaged ("on") and disengaged ("-") alternately.

- ※ The alarm mark "••)" is shown if the alarm is engaged in any of the three channels.
- ※ The alarm mark "••)" is shown in any mode except when the power save, sleep or setting function is activated.



(4) How to stop alarm sound

· The alarm rings at the designated time for 10 seconds.
To stop it manually, press any of the buttons.

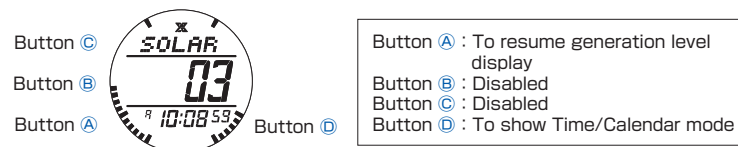
- ※ The alarm sound can be stopped when any mode is shown on the display.

How to Use Solar Monitor Mode

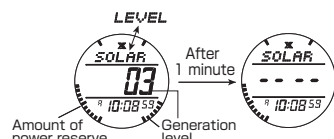
The present generation level of the solar panel and the amount of power reserve are detected and displayed in 11 levels respectively. They provide the guidelines for performing charging. The generation level is indicated numerically in the middle row as well as by the number of dots shown on the right side of the dial's edge. The amount of power reserve is indicated by the number of dots shown on the left side of the dial's edge.

(1) Buttons and functions

· Press Button (D) to show the Solar Monitor mode. After "SOLAR" appears in the top row and the dots on both sides of the dial's edge flash, "SOLAR" and "LEVEL" are shown alternately in the top row, and the generation level and the current time are shown in the middle and bottom rows, respectively.



(2) Explanation of display



Generation level:

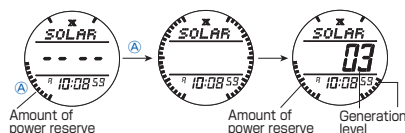
It is indicated in 11 levels (00 to 10) by the value in the middle row as well as by the number of dots on the dial's edge from 5 to 1 o'clock positions. "1" in the middle row corresponds to two dots on the dial's edge. The indication is updated every second for 1 minute, and ceases to be displayed thereafter.

Amount of power reserve:

It is indicated in 11 levels (0 to 100%) by the number of dots on the dial's edge from 7 to 11 o'clock positions. It is updated every minute.

(3) To resume generation level display

· When "- - -" is shown in the middle row, press Button (A). The present generation level is indicated for 1 minute.



(4) Guidelines of charging

- When the generation level is "06" or higher, the watch is charged satisfactorily. The top end dot of the dots indicating the amount of power reserve flashes to indicate that charging is progressing (see "(1) How to charge" on P. 75).
- When the number of dots indicating the amount of power reserve has reduced to two, charge the watch immediately. The power reserve is depleting, and the battery mark on the display panel is flashing (see "(3) Display and amount of power reserve" on P. 77).

Daily Care

● The watch requires good daily care

- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
- ※ If your watch is rated as "Non-water resistant" or "water resistant for everyday life," do not wash the watch. Do not pour running water directly from faucet onto the watch. Put some water into a bowl first, and then soak the watch in the water to wash it.
Performance and type → P. 112.
Water resistance → P. 110.

Water Resistance

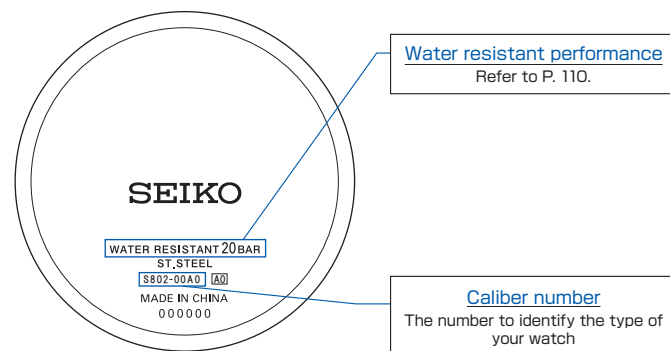
Refer to the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to P.112.)

Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life. WARNING Not suitable for swimming
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures	The watch is suitable for sports such as swimming.
WATER RESISTANT 10(20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

Performance and Type

The case back shows the caliber and performance of your watch



※The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

Band

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

● Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush. (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

● Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.

- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10- or 20-BAR water resistant).

● Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

● Silicone band

- As for material characteristics, the band is easily dirtied, and may be stained and discolored. Wipe off dirt with a wet cloth or cleaning tissue.
- Unlike bands of other materials, cracks may result in the band being cut. Take care not to damage the band with an edged tool.

Notes on skin irritation and allergy

Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.

Notes on the length of the band

Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.



114

※ Overcharge prevention function

When the secondary battery is fully charged, the overcharge prevention function is automatically activated to avoid further charging. There is no need to worry about damage caused by overcharging no matter how much the secondary battery is charged in excess of the "time required for fully charging the watch".

※ Refer to "Guidelines of charging duration" on P. 76 to check the time required for fully charging the watch.

⚠ NOTICE

■ Notes on charging the watch

- When charging the watch, do not place the watch in close proximity to an intense light source such as lighting equipment for photography, spotlights or incandescent lights, as the watch may be excessively heated resulting in damage to its internal parts.
- When charging the watch by exposure to direct sunlight, avoid places that easily reach high temperatures, such as a car dashboard.
- Always keep the watch temperature under 50°C.

116

Power Source

The battery used in this watch is a special secondary battery, which is totally different from ordinary silver oxide batteries.

Unlike other disposable batteries such as dry-cell batteries or button cells, this secondary battery can be used over and over again by repeating the cycles of discharging and recharging.

However, for various reasons such as long-term use or usage conditions, the capacity or recharging efficiency of the secondary battery may gradually deteriorate. Worn or contaminated mechanical parts or degraded oils may also shorten recharging cycles. If the efficiency of the secondary battery decreases, have the watch repaired.

⚠ NOTICE

■ Remarks on replacing the secondary battery

- Do not remove the secondary battery yourself.
- Replacement of the secondary battery requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for repair.
- Installation of an ordinary silver oxide battery can generate heat that can cause bursting or ignition.

115

After-Sale Service

● Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.
- For repair services after the guarantee period has expired, if the functions of the watch can be restored by repair work, we will undertake repair services upon request and payment.

● Replacement parts

- SEIKO makes it a policy to typically keep a stock of replacement parts for this watch for 7 years. Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch. Please keep in mind that if original parts are not available, they may be replaced with substitutes whose outward appearance may differ from the originals.

117

● Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

· Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 3 to 4 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time.

According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate; abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly; or the watch itself may stop.

As the parts such as the gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture.

Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.

· When your watch is inspected and adjusted by disassembly and cleaning (overhauled), the movement of your watch may be replaced.

Troubleshooting

Problem	Possible cause	Solution
After stoppage, the watch was charged longer than the duration specified for "full charge," but it did not start operating.	The watch was exposed to less intense light.	Charge the watch in an environment where sufficient light is available, such as outdoors on a sunny day.
	The system inside the watch was unstable.	Reset the built-in IC. For details, refer to "How to Reset Built-In IC" on P. 122.
The watch gains or loses occasionally.	The watch was placed in high or low temperatures.	Normal accuracy will resume when the watch returns to normal temperatures. If the problem persists, consult the retailer from whom the watch was purchased.
The time is one hour ahead of or behind the correct time. (1)	A city or region where the place of use is not located is set as the home time city.	Check the home time city currently set, and reset it. To show the time of Tokyo, for example, set TYO (Tokyo) as the home time city. For details, refer to P. 84.

● Electroluminescent light

The brightness of the electroluminescence (EL) panel used for the built-in illuminating light will decrease when the battery voltage becomes low. The brightness of the EL panel will also gradually decrease with the passage of time.

The brightness of the EL panel will decrease by one-half after a total of approximately 120 hours of lighting. When the brightness of the EL panel becomes too dark, first charge the watch sufficiently. If it is still too dark after charging the watch, replace the EL panel. Consult the retailer from whom the watch was purchased concerning panel replacement. A fee will be charged for replacement.

● Liquid crystal panel

The normal life expectancy for the liquid panel of the watch is approximately 7 years. After that, it may decrease in contrast, becoming difficult to read. Consult the retailer from whom the watch was purchased concerning panel replacement. A fee will be charged for replacement.

Problem	Possible cause	Solution
The time is one hour ahead of or behind the correct time. (2)	DST (daylight saving time) is set for the home time.	If the DST mark is shown to the left of the home time display, DST is set for the home time. To return it to the standard time, turn off the DST setting. For details, refer to P. 84.
The buttons will not work. The display remains blank.	The amount of power reserve has reduced to an extremely low level.	Refer to "Display and amount of power reserve" on P. 77, and charge the watch sufficiently.
The blur on the watch glass persists.	Water entered inside the watch due to a deteriorated gasket or for any other reason.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.

How to Reset Built-In IC

In case the watch shows an abnormal display, follow the procedure below to reset the built-in IC. The normal display will resume.

① Press and hold Buttons **A**, **B**, **C** and **D** simultaneously. When the display becomes blank, release all the buttons.



② The built-in IC is reset.

When the normal display appears instead of the blank display, the Time/Calendar display of the Time/Calendar mode is shown. It starts counting from 12:00 am on January 1, 2018. To use the watch with an accurate time indication, be sure to set the time/calendar after resetting the built-in IC.

※After the built-in IC is reset, the home time display shows the Japan time (city code: TYO), and the world time display shows GMT (Greenwich Mean Time).

Specifications

1. Frequency of crystal oscillator 32,768 Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
2. Loss/gain (monthly rate) Less than 20 seconds at normal temperature range (between 5°C and 35°C)
3. Operational temperature range between -10°C and +60°C (Temperature range for display function between 0°C and +50°C)
4. Display system
 - Time/calendar mode Date, day of the week, A/P (in a 12-hour format), hour, minutes and seconds
Dual time display of home time and world time, world time mark and DST mark
(Alarm mark and hourly time signal mark)
 - Stopwatch mode Measures up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds in 1/10-second increments.
Lap/split times, lap/split No., current time, and stopwatch mark
(Alarm mark and hourly time signal mark)
 - Recall mode Total time, lap/split times, best lap time, average lap time, lap/split No., memory
channel No., and date of measurement (month and date)
(Alarm mark and hourly time signal mark)
 - Timer mode 9 hours, 59 minutes and 59 seconds can be set in second increments.
Number of repetitions, current time, timer mark, and graphic display of remaining
seconds for the last 59 seconds of each countdown
 - Alarm mode Designated alarm time (hour and minutes), A/P (in a 12-hour format), "on/-" (engagement/
disengagement) mark, alarm channel (AL1, AL2 and AL3), and current time
(Alarm mark and hourly time signal mark)
 - Solar Monitor mode Generation levels (11 levels), amount of power reserve (11 levels), and current time
(Alarm mark and hourly time signal mark)
5. Display medium Nematic Liquid Crystal, FEM (Field Effect Mode)
6. Power source Secondary battery, 1 piece
7. Duration of operation Approximately 5 months (without being exposed to light after full charge, under
the conditions below: illuminating light ... once/day for 2 seconds; alarm...10
seconds/day; and Power Save...6 hours/day)
8. Illuminating light EL (Electroluminescent light)
9. IC (Integrated Circuit) Oscillator, frequency divider and driving circuit, C-MOS-IC, 1 piece

※The specifications above are subject to change without prior notice for product improvements.

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル

〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>